

8 監 査 第 4 2 号

令和8年8月27日

京丹後市長 中 山 泰 様

京丹後市監査委員 河 嶋 重 春

京丹後市監査委員 和 田 晋

令和7年度京丹後市公営企業会計決算の審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により、審査に付された令和7年度京丹後市公営企業会計（水道事業会計・下水道事業会計・病院事業会計）の決算について審査したので、別紙のとおり意見書を提出します。

令和 7 年 度

京丹後市公営企業会計決算審査意見書

京丹後市水道事業会計

京丹後市下水道事業会計

京丹後市病院事業会計

京丹後市監査委員

目 次

第1	審査の概要	1
1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の方法	1
第2	審査の結果	1
【水道事業会計】		3
1	事業の概況	5
2	予算執行状況（税込）	5
(1)	収益的収入及び支出	5
(2)	資本的収入及び支出	5
3	経営成績（税抜）	6
4	財政状態（税抜）	6
5	むすび	7
	決算審査資料	9
【下水道事業会計】		19
1	事業の概況	21
2	予算執行状況（税込）	21
(1)	収益的収入及び支出	21
(2)	資本的収入及び支出	21
3	経営成績（税抜）	22
4	財政状態（税抜）	23
5	むすび	24
	決算審査資料	25
【病院事業会計】		35
1	事業の概況	37
(1)	入院患者の状況	37
(2)	外来患者の状況	37
(3)	訪問看護事業の状況	38
(4)	通所リハビリテーション事業の状況	38
2	予算執行状況（税込）	38
(1)	収益的収入及び支出	38
(2)	資本的収入及び支出	38
3	経営成績（税抜）	39
4	財政状態（税抜）	40
5	むすび	41
	決算審査資料	43

第1 審査の概要

1 審査の対象

令和7年度京丹後市水道事業会計決算
令和7年度京丹後市下水道事業会計決算
令和7年度京丹後市病院事業会計決算
上記各会計決算附属書類

2 審査の期間

令和8年6月30日から令和8年8月25日

3 審査の方法

審査に当たっては、市長から提出された各事業会計の決算書及び附属書類が、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成され、計数が正確であるか、各事業の経営成績及び財政状態が適正に表示されているかを確認するため、関係諸帳簿と照合したほか、関係職員から説明を聴取して実施した。

第2 審査の結果

審査に付された各事業会計決算書及び附属書類は、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成されており、これらに記載された計数は正確で、経営成績及び財政状態を適正に表示していると認められた。また、予算の執行及び関連する事務の処理は、おおむね適正に行われているものと認められた。

審査の結果の詳細は、以下のとおりである。

なお、文中及び表中の数値は、四捨五入を基本として（収入率及び執行率は、小数点第2位を切捨て）表示しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。

京丹後市水道事業会計

1 事業の概況

事業の概要は、別表1のとおりである。

令和7年度末現在の給水人口は、46,449人で前年度に比べて23人増加したが、給水件数は24,245件で、前年度に比べて46件減少となっている。

年間総有収水量は、5,507,206 m³で前年度に比べて、49,652 m³減少し、年間総配水量は6,877,604 m³で前年度に比べて、65,625 m³の増加となっている。

有効率は82.27%で対前年度比1.5ポイントの減少、有収率は80.07%で対前年度比1.5ポイントの減少となっている。

給水人口が減少していることに加え、社会経済情勢や生活様式の変化に伴う市民の節水意識の向上などによる水需要の変動については、引き続き注視していく必要がある。

管路の状況は、管路総延長795.97kmのうち、石綿管は3.99km(0.5%)と前年度より0.27kmの改善が図られているが、有収率の向上を図る上からも、引き続き老朽管の布設替等が必要である。早急かつ効率的に更新を進められたい。

2 予算執行状況(税込)

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入及び支出の予算執行状況は、別表2のとおりである。

収益的収入である水道事業収益は、予算額15億3,010万1千円に対して決算額15億4,429万8千円で、収入率は100.9%となっている。これは、消費税及び地方消費税還付金などで予算額を上回ったことによるものである。

収益的支出である水道事業費用は、予算額17億674万2千円に対して決算額16億3,194万8千円で、執行率は95.6%である。不用額の主なものは、営業費用で原水及び浄水費2,352万9千円である。

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入及び支出の予算執行状況は、別表3のとおりである。

資本的収入は、予算額17億734万8千円に対して決算額12億9,546万6千円で、収入率は75.9%である。これは、予算額に対して企業債が4億660万円下回ったことによるものである。

資本的支出は、予算額21億5,063万5千円に対して決算額17億4,272万2千円で、19億2,640万円を翌年度に繰り越し、執行率は81.0%となった。主な不用額は、施設改良事業費1億7,797万7千円である。翌年度繰越分の内訳は、施設改良事業費1億2,764万円、中野水系配水池更新整備事業費6,500万円である。

施設整備については、安全で安心な水道水の安定供給を図るために、下水道工事及び道路改良工事に併せた老朽管の布設替工事などが計画的に実施されている。新配水池施設整備では、中野水系配水池更新整備として、配水池築造工事を実施し、併せて中野浄水場から新配水池への送配水管の布設を実施した。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額4億4,725万6千円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額9,298万9千円、過年度分損益勘定留保資金3億5,426万7千円で補てんしている。

3 経営成績(税抜)

損益計算書による経営成績は、別表4のとおりである。

総収益13億9,555万8千円に対して総費用は15億7,921万3千円で、差し引き1億8,365万5千円の純損失となっている。この結果、前年度繰越欠損金7億3,290万8千円を加え、当年度未処理欠損金は9億1,656万3千円と増加した(別表9参照)。

総収益は、営業収益の給水収益が1,343万4千円、営業外収益の受取利息が153万8千円、長期前受金戻入が1億538万1千円増加したが、営業収益のその他営業収益が5万6千円、営業外収益の他会計補助金が3,794万8千円、特別利益が1億9,456万5千円減少したことにより、前年度に比べて1億1,153万8千円(7.4%)の減少となった。

総費用は、前年度に比べて8,711万1千円(5.2%)の減額となった。

営業費用では、原水及び浄水費が7,047万2千円、配水及び給水費が1,532万7千円、業務費が1,538万8千円増加し、総係費が313万7千円、減却償却費が2,010万2千円、資産減耗費が812万1千円減少している。

有収水量1^m当たりの供給単価は183円63銭で対前年度比4円05銭増加し、給水原価は239円80銭で対前年度比4円43銭減少している。その結果、有収水量1^m当たりの赤字額は前年度に比べて8円48銭減少し、56円17銭となった。物価高騰対策による基本料金免除を令和6年度は2ヵ月分実施し、令和7年度は1ヵ月分の基本料金免除を実施したことから供給単価は増加し、また給水原価の減少は、出資金の一部を他会計補助金として処理したことにより、長期前受金戻入が増加したためである(別表1参照)。

また、総収支比率は、別表5のとおり88.4%と16年連続して純損失を生じており、経常収支比率も88.5%で15年連続の単年度赤字となった。

4 財政状態(税抜)

貸借対照表による財政状態は、別表6～9のとおりである。

資産の総額は187億7,732万3千円で、前年度に比べて5,037万7千円(0.3%)

減少している。固定資産は、車両運搬具が 68 万円、建設仮勘定が 7 億 2,252 万 4 千円増加した一方で、建物が 3,318 万 7 千円、構築物が 1 億 8,129 万 1 千円、機械及び装置が 1 億 3,019 万 6 千円、工具器具及び備品が 335 万 6 千円減少した。流動資産は、貸倒引当金が 32 万 7 千円、貯蔵品が 15 万 4 千円増加した一方で、現金預金が 2 億 9,391 万 7 千円、未収金が 3,303 万 1 千円、前払金が 9,908 万 5 千円減少した。

流動資産である水道料金の未収金の状況は、別表 10 のとおりである。

未収金の総額は 1 億 7,895 万 1 千円で、前年度に比べて 354 万 2 千円増加しているが、件数は 127 件減少している。また、京丹後市債権の管理に関する条例に基づき、350 件、104 万 6 千円が不納欠損として処分されている。

負債の総額は 126 億 3,086 万 8 千円で、前年度に比べて 2 億 7,622 万 4 千円減少した。固定負債の増加は、企業債 5,628 万 5 千円によるもので、流動負債では、企業債 1,208 万 5 千円、未払金 2 億 2,837 万 2 千円、前受金 3,990 万円、その他流動負債 7,721 万 5 千円が減少したものの、引当金 62 万 8 千円が増加した。

資本の総額は 61 億 4,645 万 5 千円で、前年度に比べて 2 億 2,584 万 5 千円 (3.8%) 増加している。資本の増加は、利益剰余金が 1 億 8,365 万 5 千円減少したものの、自己資本金が 4 億 950 万円増加したことによるものである。

企業債の状況は、次のとおりである。

(決算書 P28,P34,P47 参照)

(単位:千円)

令和6年度 末残高	令和7年度		令和7年度 末残高	令和7年度 支払利息
	発行額	償還額		
9,119,478	639,000	594,800	9,163,678	109,774

企業債残高は 91 億 6,367 万 8 千円で、前年度に比べ 4,420 万円 (0.5%) 増加した。企業債利息は 1 億 977 万 4 千円で、営業収益(税抜)10 億 3,410 万 7 千円に占める割合は 10.6%と、前年度に比べて 0.5%減少している。(別表4参照)

5 むすび

水道事業会計の経営成績(税抜き)は、事業収益 13 億 9,555 万 8 千円に対して事業費用は 15 億 7,921 万 3 千円、差し引き 1 億 8,365 万 5 千円事業費用が上回った。これにより 16 年連続の当年度純損失、15 年連続の経常赤字という状況が続いている。従来からの赤字体質に加え、令和元年度の簡易水道事業会計統合に伴う施設資産の増加により、経営環境がより一層厳しくなっているところである。

収入面では、人口減少や節水型家電製品の普及と利用者の節水意識の向上により、水需要の増加が期待しにくい状況にある。

支出面では、物価上昇に伴う原材料費の増加、老朽化した水道管の更新工事や小規模施設の維持管理など、今後も相応の設備投資が必要であり、経営状況がさらに厳しくなることが予想される。

地区ごとの給水原価や有収率を詳しく分析し、給水人口と水需要に応じた施設の最適化と給水区域の見直しを検討していくことが望まれる。このような取り組みを通じて、より効率的な事業運営と管理体制が実現されることを期待している。

現在 260 か所に分散している水道施設について、持続可能な事業運営を実現するため、施設の統廃合を含めた見直しを進めていくことが大切と考えられる。

近年の自然災害の多発に対応するため、緊急時の危機管理体制を整備し、不測の事態が発生しても水道事業の継続的な運営が確保できるよう備えることが重要である。同時に、維持管理コストの削減に工夫を凝らしていくことが望まれる。

水道料金の未収金については、令和 7 年度末で 1 億 7,895 万 1 千円となっている。給水停止予告通知による未納者との接触や納付交渉の実施、定められた基準に基づく不納欠損処理など、滞納整理に向けた取り組みが進められており、その努力が認められる。しかし、依然として相当額の未収金が残っている状況である。

利用者の負担の公平性確保と経営基盤の安定化の観点から、適正な債権管理は大変重要である。今後も、滞納者への継続的な働きかけや給水停止措置の実施など、回収に向けた取り組みを進めていきたい。

新たな未納者の発生を防ぎ、収納率を向上させることも大切である。初期段階での徴収体制の強化や口座振替制度の利用促進などの対策を講じることで、未収金の発生を防止し、より良い収納環境を整えていくことが期待される。

水道事業は市民生活と経済活動に欠かせないものである。自然災害への対応を含めた危機管理が大切な課題であり、限られた職員体制の中で緊急時にも対応できる体制づくりに取り組む必要がある。

経営基盤の強化と事業運営の効率化・合理化に一層取り組んでいただき、市民に対して安全で良質な水道水が安定的に供給される体制が実現されることを期待している。

決 算 審 査 資 料

(水 道 事 業 会 計)

決算審査資料 （水道事業会計）

別表 1	水道事業の概要	11
別表 2	収益的収支予算決算比較（税込）	12
別表 3	資本的収支予算決算比較（税込）	13
別表 4	損益計算書（税抜）	14
別表 5	経営の安定度に関する指標	15
別表 6	資産	16
別表 7	負債	16
別表 8	資本金	17
別表 9	剰余金	17
別表 10	水道料金未収金及び不納欠損額（税込）	18

（注）表中の数値は、基本的に表示数値未満を四捨五入（収入率及び執行率は、小数点第2位を切捨て）しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

別表 1

水道事業の概要

項 目 \ 年 度	令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	対 前 年 比	
			増減(C) (A-B)	比率(C/B*100)
給 水 件 数 (件)	24,245	24,291	△ 46	△ 0.2%
給 水 人 口 (人)	46,449	46,426	23	0.0%
配 水 量				
年間総配水量 (m ³)	6,877,604	6,811,979	65,625	1.0%
一日最大配水量 (m ³)	21,676	22,684	△ 1,008	△ 4.4%
一日最小配水量 (m ³)	17,034	16,856	178	1.1%
一日平均配水量 (m ³)	18,843	18,662	181	1.0%
有 収 水 量				
年間総有収水量 (m ³)	5,507,206	5,556,858	△ 49,652	△ 0.9%
有 効 率 (%)	82.27	83.77	△ 1.50	—
有 収 率 (%)	80.07	81.57	△ 1.50	—
供 給 単 価	183円63銭	179円58銭	4円05銭	—
給 水 原 価	239円80銭	244円23銭	△ 4円43銭	—
資 本 費	100円65銭	122円52銭	△ 21円87銭	—
管 路 総 延 長 (km)	795.97	795.64	0.33	0.0%
石綿管総延長 (km)	3.99	4.26	△ 0.27	△ 6.3%
石綿管布設率 (%)	0.5	0.5	0.0	—

- ・給水人口 定住人口による集計
- ・有効率 $\text{年間総有効水量} / \text{年間総配水量} \times 100$
浄水場から送られた水が途中で漏水することなく、一般世帯などで有効に使用された水量（漏水量を除いた水量）の割合を示す指標
- ・有効水量 有収水量＋無収水量（メーター不感知分、消火栓使用分、管洗浄分等）
- ・有収率 $\text{年間総有収水量} / \text{年間総配水量} \times 100$
浄水場から送られた水がどれだけ料金徴収の基礎となったかを示す指標。数値が高いほど施設効率が良いことを示し、低い場合は漏水、メーターの不感、公共用水、消防用水等いくつかの要因が考えられる。
- ・供給単価 給水収益/年間総有収水量
有収水量1m³当たり、どれだけの収益を得ているかを示す指標
- ・給水原価 $(\text{経常費用} - \text{長期前受金戻入} - \text{受託工事費}) / \text{年間総有収水量}$
有収水量1m³作るために、どれだけの費用がかかっているかを示す指標
- ・資本費 $(\text{支払利息} + \text{減価償却費} - \text{長期前受金戻入}) / \text{年間総有収水量}$

別表2 水道事業収益の収支予算決算比較（税込）

（1）収 入

（単位：千円、％）

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	増減額 ②－①	収入率 ②／①
水道事業収益	1,530,101	1,544,298	14,197	100.9
営業収益	1,121,524	1,135,191	13,667	101.2
給水収益	1,098,332	1,112,142	13,810	101.3
その他営業収益	23,192	23,049	△ 143	99.4
営業外収益	407,476	408,005	529	100.1
受取利息及び配当金	500	2,031	1,531	406.2
国庫補助金	0	0	0	0.0
他会計補助金	100,702	100,702	0	100.0
長期前受金戻入	262,671	255,274	△ 7,397	97.2
雑収益	1,603	2,463	860	153.7
消費税及び地方消費税還付金	42,000	47,535	5,535	113.2
特別利益	1,101	1,102	1	100.0
その他特別利益	1,101	1,102	1	100.0

（2）支 出

（単位：千円、％）

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	不用額 ①－②	執行率 ②／①
水道事業費用	1,706,742	1,631,948	74,794	95.6
営業費用	1,581,407	1,517,573	63,834	96.0
原水及び浄水費	551,641	528,112	23,529	95.7
配水及び給水費	152,264	148,153	4,111	97.3
業務費	108,342	92,528	15,814	85.4
総係費	42,918	37,801	5,117	88.1
減価償却費	699,791	699,791	0	100.0
資産減耗費	26,451	11,189	15,262	42.3
営業外費用	112,027	111,067	960	99.1
支払利息及び企業債取扱諸費	109,779	109,774	5	100.0
雑支出	2,248	1,293	955	57.5
特別損失	3,308	3,308	0	100.0
その他特別損失	0	0	0	0.0
減損損失	3,308	3,308	0	100.0
予備費	10,000	0	10,000	0.0
予備費	10,000	0	10,000	0.0

別表3 水道事業資本の収支予算決算比較（税込）

(1) 収 入

(単位：千円、%)

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	増減額 ②-①	収入率 ②/①
資本の収入	1,707,348	Ⓐ 1,295,466	△ 411,882	75.9
加入金	11,299	6,017	△ 5,282	53.3
加入金	11,299	6,017	△ 5,282	53.3
企業債	1,045,600	639,000	△ 406,600	61.1
企業債	1,045,600	639,000	△ 406,600	61.1
補助金	240,949	240,949	0	100.0
他会計補助金	240,949	240,949	0	100.0
出資金	409,500	409,500	0	100.0
他会計出資金	409,500	409,500	0	100.0
補償金	0	0	0	0.0
補償金	0	0	0	0.0
負担金	0	0	0	0.0
負担金	0	0	0	0.0

(2) 支 出

(単位：千円、%)

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	翌年度 繰越額③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
資本の支出	2,150,635	Ⓑ 1,742,722	192,640	215,273	81.0
建設改良費	1,555,835	1,147,923	192,640	215,272	73.8
固定資産取得費	57,228	56,049	0	1,179	97.9
施設改良事業費	555,936	250,319	127,640	177,977	45.0
中野水系配水池更新整備事業費	942,624	841,509	65,000	36,115	89.3
負担金等返還金	47	46	0	1	98.3
企業債償還金	594,800	594,800	0	0	100.0
企業債償還金	594,800	594,800	0	0	100.0

(3) 資本の収入額が資本の支出額に対して不足する額

(単位：千円)

項 目	金 額	備 考
資本の収支差引額 Ⓐ-Ⓑ	△ 447,256	
補填財源	447,256	
消費税及び地方消費税資本の収支調整額	92,989	
繰越工事資金	0	
過年度分損益勘定留保資金	354,267	
当年度分損益勘定留保資金	0	
利益剰余金	0	

別表 4 水道事業損益計算書（税抜）

（単位：千円、％）

年 度 項 目	令和7年度 ①	令和6年度 ②	対 前 年 比	
			金 額③ (①-②)	比率(③/②*100)
水道事業収益 (A)	1,395,558	1,507,096	△ 111,538	△ 7.4
営業収益 (C)	1,034,107	1,020,730	13,377	1.3
給水収益	1,011,305	997,871	13,434	1.3
その他営業収益	22,802	22,858	△ 56	△ 0.2
営業外収益	360,349	290,699	69,650	24.0
受取利息	2,031	493	1,538	312.0
国庫補助金	0	0	0	0.0
他会計補助金	100,702	138,650	△ 37,948	△ 27.4
長期前受金戻入	255,274	149,893	105,381	70.3
雑収益	2,342	1,663	679	40.8
特別利益	1,102	195,667	△ 194,565	△ 99.4
その他特別利益	1,102	195,667	△ 194,565	△ 99.4
水道事業費用 (B)	1,579,213	1,666,324	△ 87,111	△ 5.2
営業費用	1,464,865	1,395,038	69,827	5.0
原水及び浄水費	488,042	417,570	70,472	16.9
配水及び給水費	142,808	127,481	15,327	12.0
業務費	86,388	71,000	15,388	21.7
総係費	36,709	39,846	△ 3,137	△ 7.9
減価償却費	699,791	719,893	△ 20,102	△ 2.8
資産減耗費	11,127	19,248	△ 8,121	△ 42.2
営業外費用	111,041	112,012	△ 971	△ 0.9
支払利息 (D)	109,774	110,812	△ 1,038	△ 0.9
雑支出	1,267	1,200	67	5.6
特別損失	3,308	159,274	△ 155,966	△ 97.9
その他特別損失	0	152,936	△ 152,936	△ 100.0
減損損失	3,308	6,338	△ 3,030	△ 47.8
当年度純損益 (A)-(B)	△ 183,655	△ 159,228	△ 24,427	15.3
総収支比率 (A)/(B)	88.4	90.4	△ 2.0	
支払利息/営業収益 (D)/(C)	10.6	10.9	△ 0.3	

別表5 水道事業経営の安定度に関する指標

(単位：％)

項目	年度	令和7年度	令和6年度	令和5年度	備 考
総収支比率		88.4	90.4	88.6	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$ 経営収支の均衡度を総収益対費用の関係で見る指標。高い数値の方が好ましい。この率が100％未満であれば、純損失を生じている。
	類似団体全国平均値	—	107.1	106.9	
経常収支比率		88.5	87.0	94.6	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$ 特別損益を除いた経常的な収支の関係を見る指標。高い数値の方が好ましい。100％を超える場合は単年度黒字を、100％未満は単年度赤字を表す。
	類似団体全国平均値	—	106.9	107.8	
営業収支比率		70.6	73.2	82.2	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事費収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費}} \times 100$ 通常の営業活動に要する費用を、営業活動に必要なものとして徴収している給水収益等の営業収益で、どの程度賄っているかを示す指標。高い数値の方が好ましい。100％未満の場合は健全経営とはいえない。
	類似団体全国平均値	—	87.6	87.7	

別表 6

水道事業資産

(単位：千円、%)

年 度 項 目		令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	対 前 年 比	
				金 額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
固定資産	土 地	540,042	540,042	0	0.0
	建 物	932,093	965,280	△ 33,187	△ 3.4
	構 築 物	11,772,302	11,953,593	△ 181,291	△ 1.5
	機 械 及 び 装 置	1,964,607	2,094,803	△ 130,196	△ 6.2
	車 両 運 搬 具	2,404	1,724	680	39.4
	工 具 器 具 及 び 備 品	22,708	26,064	△ 3,356	△ 12.9
	建 設 仮 勘 定	2,028,936	1,306,412	722,524	55.3
	小 計	17,263,092	16,887,917	375,175	2.2
流動資産	現 金 預 金	1,268,829	1,562,746	△ 293,917	△ 18.8
	未 収 金	227,513	260,544	△ 33,031	△ 12.7
	貸 倒 引 当 金	△ 32,469	△ 32,796	327	△ 1.0
	貯 蔵 品	11,691	11,537	154	1.3
	前 払 金	38,667	137,752	△ 99,085	△ 71.9
	その他流動資産	0	0	0	0.0
	小 計	1,514,231	1,939,783	△ 425,552	△ 21.9
合 計		18,777,323	18,827,700	△ 50,377	△ 0.3

別表 7

水道事業負債

(単位：千円、%)

年 度 項 目		令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	対 前 年 比	
				金 額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
固定負債	企 業 債	8,580,963	8,524,678	56,285	0.7
	引 当 金	25,444	25,444	0	0.0
	その他固定負債	0	0	0	0.0
	小 計	8,606,407	8,550,122	56,285	0.7
流動負債	一 時 借 入 金	0	0	0	0.0
	企 業 債	582,715	594,800	△ 12,085	△ 2.0
	未 払 金	252,077	480,449	△ 228,372	△ 47.5
	前 受 金	0	39,900	△ 39,900	△ 100.0
	引 当 金	14,030	13,402	628	4.7
	その他流動負債	60	77,275	△ 77,215	△ 99.9
	小 計	848,882	1,205,825	△ 356,944	△ 29.6
繰延収益	長 期 前 受 金	5,143,884	4,871,076	272,808	5.6
	収益化累計額	△ 1,968,306	△ 1,719,933	△ 248,373	14.4
	小 計	3,175,578	3,151,143	24,435	0.8
合 計 (ア)		12,630,868	12,907,090	△ 276,224	△ 2.1

別表 8

水道事業資本金

(単位：千円、%)

年 度 項 目		令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	対 前 年 比	
				金 額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
自己資本金	自 己 資 本 金	6,565,816	6,156,316	409,500	6.7
借入資本金	企 業 債	—	—	—	—
合 計 (イ)		6,565,816	6,156,316	409,500	6.7

別表 9

水道事業剰余金

(単位：千円、%)

年 度 項 目		令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	対 前 年 比	
				金 額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
資 本 剰 余 金	再 評 価 積 立 金	1,972	1,972	0	0.0
	加 入 金	17,883	17,883	0	0.0
	補 助 金	67,948	67,948	0	0.0
	受 贈 財 産 評 価 額	239,589	239,589	0	0.0
	寄 附 金	3,243	3,243	0	0.0
	工 事 負 担 金	35,638	35,638	0	0.0
	補 償 金	—	—	—	—
	小 計	366,273	366,273	0	0.0
利 益 剰 余 金	減 債 積 立 金	3,600	3,600	0	0.0
	建 設 改 良 積 立 金	127,328	127,328	0	0.0
	当年度未処分利益剰余金	△ 916,563	△ 732,908	△ 183,655	△ 25.1
	(うち当年度純損益)	(△ 183,655)	(△ 159,228)	(△ 24,427)	(△ 15.3)
	小 計	△ 785,634	△ 601,979	△ 183,655	△ 30.5
合 計 (ウ)		△ 419,361	△ 235,707	△ 183,654	△ 77.9

資 本 合 計 (イ)+(ウ)	6,146,455	5,920,610	225,846	3.8
負債資本合計 (ア)+(イ)+(ウ)	18,777,323	18,827,700	△ 50,378	△ 0.3

別表10 水道料金未収金及び不納欠損額（税込）

3月31日現在

（単位：円、件）

	水道料金未収金				不納欠損			
	令和7年度		令和6年度		令和7年度		令和6年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
令和7年度	26,390	103,964,412			7	12,484		
令和6年度	1,188	4,934,074	26,567	100,310,123	18	27,968	6	21,568
令和5年度	1,056	5,890,274	1,197	7,236,744	18	53,069	8	30,998
令和4年度	1,178	4,401,447	1,248	4,581,408	1	5,544	10	43,226
令和3年度	1,343	5,273,075	1,440	5,631,566	0	0	41	194,836
令和2年度	847	3,514,391	917	3,729,690	6	9,016	14	62,612
令和元年度	744	3,150,221	807	3,365,929	19	75,552	3	10,119
平成30年度	698	3,709,239	743	3,877,858	22	86,728	7	22,225
平成29年度	623	2,177,380	668	2,413,740	12	20,960	2	7,222
平成28年度	579	2,089,409	597	2,142,934	3	5,427	2	8,872
平成27年度	575	2,394,579	615	2,571,611	8	18,841	2	9,226
平成26年度	626	2,507,525	653	2,625,946	13	60,736	0	0
平成25年度	655	2,644,089	700	2,783,635	12	34,790	0	0
平成24年度	901	3,469,172	947	3,653,046	6	25,280	0	0
平成23年度	868	3,191,720	944	3,430,831	30	76,960	0	0
平成22年度	1,173	4,182,621	1,274	4,555,966	41	123,950	0	0
平成21年度	995	3,424,118	1,061	3,650,698	39	109,930	0	0
平成20年度	705	2,348,191	746	2,482,593	21	79,424	0	0
平成19年度	577	2,306,511	601	2,431,646	14	67,530	0	0
平成18年度	540	1,934,284	568	2,079,099	6	24,029	0	0
平成17年度	379	1,520,285	396	1,644,101	0	0	0	0
平成16年度	267	1,013,397	271	1,039,365	0	0	0	0
平成15年度	389	1,940,205	407	2,050,565	12	77,610	0	0
平成14年度	378	1,702,054	393	1,791,234	4	24,640	0	0
平成13年度	335	1,228,156	335	1,228,156	0	0	0	0
平成12年度	243	950,898	244	955,898	0	0	0	0
平成11年度	198	796,184	200	811,184	0	0	0	0
平成10年度	118	543,813	126	548,853	8	5,040	0	0
平成9年度	136	614,395	148	622,275	12	7,880	0	0
平成8年度	94	461,825	106	470,655	12	8,830	0	0
平成7年度	65	347,190	71	365,740	6	3,550	0	0
平成6年度	55	179,946	55	179,946	0	0	0	0
平成5年度	28	146,300	28	146,300	0	0	0	0
合 計	44,946	178,951,380	45,073	175,409,335	350	1,045,768	95	410,904

京丹後市下水道事業会計

1 事業の概況

事業の概要は、別表 11 のとおりである。

事業の実績を前年度と比べると、処理区域内人口は 39,105 人で 357 人(0.9%)減少し、水洗化人口は 28,625 人で 11 人(0.04%)増加した。

排水処理水量については、3,335,172 m³で、前年度と比べて 30,654 m³(0.9%)の減少となっている。

新規接続件数の状況は、次のとおりである。

(単位:件)

区 分	令和7年度	令和6年度	令和5年度
新規接続件数	247	278	327
公共下水道	157	188	214
特定環境保全公共下水道	43	47	41
農業集落排水処理施設	6	7	17
漁業集落排水処理施設	0	0	1
浄化槽整備	41	36	54

新規接続件数は 247 件で、前年度と比較すると 31 件の減少であった。

2 予算執行状況(税込)

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入及び支出の予算執行状況は、別表 12 のとおりである。

収益的収入である下水道事業収益は、予算額 25 億 9,378 万 3 千円に対して決算額 25 億 638 万 9 千円で、収入率は 96.6%となっている。

収益的支出である下水道事業費用は、予算額 27 億 9,794 万 5 千円に対して決算額 26 億 2,232 万 5 千円で、執行率は 93.7%である。不用額の主なものは、営業費用で管渠費 2,962 万円、処理場費 2,148 万 6 千円、浄化槽費 1,764 万 4 千円など、営業外費用では支払利息及び企業債取扱諸費 1,183 万 2 千円である。

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入及び支出の予算執行状況は、別表 13 のとおりである。

資本的収入は、予算額 37 億 9,638 万 3 千円に対して決算額 21 億 1,444 万 9 千円で、収入率は 55.7%である。主な要因は、予算額に対して企業債が 12 億 2,830 万円、補助金が 4 億 3,101 万 9 千円下回ったことなどによるものである。

資本的支出は、予算額 45 億 240 万円に対して決算額 28 億 3,449 万 5 千円で、14 億 1,987 万円を翌年度に繰り越し、執行率は 63.0%となった。主な不用額は、管渠整備事業費 1 億 9,977 万 9 千円、管渠改良事業費 940 万 3 千円、雨水施設改良事業費 2,201 万 1 千円などである。翌年度繰越分の内訳は、管渠整備事業費、管渠改良事業費、ポンプ場改良事業費、処理場改良事業費、雨水施設改良事業費である。

施設整備の状況については、快適な生活環境及び公共用水域の水質を保全するため、管渠及び浄化槽の整備事業を行い、下水道施設の長寿命化のための改良事業などが計画的に実施されている。また、令和 6 年度から雨水事業が一般会計から下水道事業会計に移管され事業を行っている。引き続き早期の完成を目指して、的確な財務分析による計画的かつ効率的な事業推進を期待するものである。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 7 億 2,004 万 6 千円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額 6,736 万 5 千円、引継金 374 万 4 千円、過年度分損益勘定留保資金 5 億 3,513 万 6 千円、当年度分損益勘定留保資金 1 億 1,380 万円で補てんしている。

3 経営成績(税抜)

損益計算書による経営成績は、別表 14 のとおりである。

総収益 23 億 6,800 万 5 千円に対して総費用は 25 億 5,267 万 6 千円で、差し引き 1 億 8,467 万 1 千円の純損失となっており、当年度未処理欠損金は 36 億 1,681 万 1 千円となった(別表 19 参照)。

総収益の主なものは、営業収益の下水道使用料が 5 億 2,427 万 2 千円、営業外収益の他会計補助金が 10 億 4,220 万 6 千円、長期前受金戻入が 7 億 7,288 万円であった。

総費用の主なものは、営業費用の管渠費が 9,640 万 3 千円、処理場費が 4 億 1,963 万 2 千円、浄化槽費が 1 億 5,948 万 6 千円、減価償却費が 14 億 506 万 6 千円、営業外費用では支払利息が 2 億 8,421 万 7 千円であった。今後もインフラの整備が進み、多額の設備整備に伴う施設の管理費用などが必要になる。

有収水量 1 m³当たりの使用料単価は 146 円 40 銭で対前年度比 40 銭の増加、処理原価は 229 円 90 銭で対前年度比 31 円 60 銭減少した。その結果、有収水量 1 m³当たりの赤字額は 83 円 50 銭となった(別表 11 参照)。

また、総収支比率は、別表 15 のとおり 92.8%、経常収支比率は 92.8%となった。

4 財政状態(税抜)

貸借対照表による財政状態は、別表 16～19 のとおりである。

資産の総額は 429 億 1,699 万 5 千円で、前年度に比べて 6 億 3,484 万 7 千円 (1.5%) の減少である。固定資産は前年度に比べて 3 億 2,356 万 1 千円の減少で、その主な内訳は建物が 7,714 万 7 千円、構築物が 1 億 640 万 6 千円、機械及び装置が 1 億 4,107 万 2 千円の減少となっている。流動資産は前年度に比べて 3 億 1,128 万 6 千円の減少で、その主な内訳は、現金預金が 4 億 9,064 万円、未収金が 2,176 万 1 千円減少し、前払金が 2 億 128 万 9 千円の増加となっている。

下水道使用料及び受益者分担金の未収金の状況は、別表 20、別表 21 のとおりである。下水道使用料の未収金総額は 16,844 件、6,259 万 7 千円で、前年度と比べて件数は 47 件増加しているが、金額は 119 万 9 千円減少した。受益者分担金については 74 件、321 万 7 千円で、前年度に比べて件数は 6 件、金額は 118 万 1 千円減少している。また、京丹後市債権の管理に関する条例に基づき、下水道使用料は 174 件、64 万円、受益者分担金については 1 件、1 万円の不納欠損を処理した。

負債の総額は 426 億 7,083 万 9 千円で、前年度に比べて 7 億 1,587 万 6 千円 (1.6%) の減少である。固定負債は前年度に比べて 1 億 6,038 万 9 千円の減少であり、その内訳は企業債が 1 億 6,038 万 9 千円減少となっている。流動負債は前年度に比べて 2 億 2,157 万 9 千円の減少であり、その内訳は、企業債が 2,288 万 3 千円、前受金が 4,769 万 8 千円、その他流動負債が 1,907 万 2 千円増額し、未払金が 3 億 1,147 万円減少となっている。

資本の総額は 2 億 4,615 万 6 千円で、自己資本金が 28 億 4,489 万 3 千円に対し、資本余剰金は 10 億 1,807 万 4 千円、利益剰余金は 36 億 1,681 万 1 千円の赤字となっている。

企業債の状況は、次のとおりである。

(決算書 P34,P41,P66 参照) (単位:千円)

令和6年度 末残高	令和7年度		令和7年度 末残高	令和7年度 支払利息
	発行額	償還額		
23,389,911	1,488,200	1,625,706	23,252,405	△283,023

企業債残高は 232 億 5,240 万 5 千円で、前年度に比べ 1 億 3,750 万 6 千円 (0.59%) の減少となっている。企業債利息は 2 億 8,302 万 3 千円で、営業収益(税抜)5 億 4,845 万 9 千円に占める割合は 51.6%と、昨年度に比べて 0.7 ポイント減少したが、非常に大きな割合となっている。

5 むすび

下水道事業会計の経営成績(税抜き)は、事業収益 23 億 6,800 万 5 千円に対して事業費用は 25 億 5,267 万 6 千円、差し引き 1 億 8,467 万 1 千円の当年度純損失となった。下水道事業は現在もインフラの整備段階にあり、基本となる下水道使用料のみでは事業費用を賄うことが難しい状況が続いている。

収入面では、普及率及び接続率の伸びが限定的であり、営業収益総額も前年度比で 0.4%の減額となっている。普及活動の強化を図りながら、下水道使用料の安定的な確保に向けて、新規接続の促進に取り組むことが重要である。

支出面においては、処理区域の拡大に伴う管渠等の整備工事や処理場の改修工事など、今後も相応の設備投資が必要となることが見込まれており、経営環境がさらに厳しくなることが予想される。効率的な汚水処理を実現するため、施設の統廃合を含めた検討を進め、より効率的な事業運営と管理体制が構築されることを期待している。

令和 7 年度末の現年度未収金は、下水道使用料が 4,973 万 1 千円、受益者分担金が 160 万 7 千円となっている。未収金対策として、水道料金と同時に督促状や催告書の発送、分納制度の活用など、きめ細かな対応が実施されている。また、定められた基準に基づき、回収の見込めない不良債権について不納欠損処理が行われるなど、滞納整理への取り組みが進められている。

利用者間の負担公平性の確保と経営基盤の安定化の観点から、適正な債権管理は大変重要である。今後も、滞納者への継続的な働きかけや給水停止措置の実施など、回収強化に向けた取り組みを進めていきたいと考える。

新たな未納者の発生を防ぐため、初期段階での徴収体制の強化が重要である。併せて、口座振替制度の利用促進などの施策を講じることで、収納率の向上を図ることが必要である。

下水道事業は、快適な市民生活環境の実現と公共用水域の水質保全に欠かせない事業である。事業の早期完成を目指しながら、経営基盤の確立と事業運営の効率化・合理化に一層取り組んでいただくことを期待している。

決 算 審 査 資 料

(下水道事業)

決算審査資料 （下水道事業会計）

別表11	下水道事業の概要	27
別表12	収益的収支予算決算比較（税込）	28
別表13	資本的収支予算決算比較（税込）	29
別表14	損益計算書（税抜）	30
別表15	経営の安定度に関する指標	31
別表16	資産	32
別表17	負債	32
別表18	資本金	33
別表19	剰余金	33
別表20	下水道使用料未収金及び不納欠損額（税込）	34
別表21	受益者分担金未収金及び不納欠損額（税込）	34

（注）表中の数値は、基本的に表示数値未満を四捨五入（収入率及び執行率は、小数点第2位を切捨て）しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

別表11

下水道事業の概要

項目 \ 年度	令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	対 前 年 比	
			増減(C) (A-B)	比率(C/B*100)
行政区域内人口 (人)	48,743	49,651	△ 908	△ 1.8%
処理区域内人口 (人)	39,105	39,462	△ 357	△ 0.9%
普 及 率 (%)	80.2	79.5	0.7%	0.0%
水洗化人口 (人)	28,625	28,614	11	0.0%
接 続 率 (%)	73.2	72.5	0.7%	0.0%
排水処理水量 (m³)	3,335,172	3,365,826	△ 30,654	△ 0.9%
使用料単価	146円40銭	146円00銭	0円40銭	0.3%
処理原価	229円90銭	261円50銭	△ 31円60銭	△ 12.1%
施設利用率 (%)	41.2	42.0	△ 0.8%	△ 0.0%
有 収 率 (%)	107.4	106.7	0.7%	0.0%

- ・行政区域内人口 年度末現在における住民基本台帳に登録された人口
- ・処理区域内人口 下水道が整備され処理可能な区域の人口（個人等管理浄化槽人口を除く）
- ・普 及 率 $\text{処理区域内人口} / \text{行政区域内人口} \times 100$
行政区域内人口に対する処理区域内人口の割合を表す指標
- ・水洗化人口 下水道処理区域内において下水道に接続し、使用している人口
（個人等管理浄化槽人口を除く）
- ・接 続 率 $\text{水洗化人口} / \text{処理区域内人口} \times 100$
- ・使用料単価 下水道使用料/年間総有収水量
有収水量1mあたり、どれだけの収益を得ているかを表す指標
- ・処理原価 経常費用/年間総有収水量
有収水量1mあたり、汚水処理にどれだけの費用がかかっているかを表す指標
- ・施設利用率 $\text{晴天時1日平均処理水量} / \text{晴天時現在処理能力} \times 100$
施設の1日平均の利用状況を表す指標
- ・有 収 率 $\text{年間総有収水量} / \text{年間汚水処理水量} \times 100$
処理した汚水のうち、使用料徴収の対象となる有収水の割合を示す指標

別表12 下水道事業収益の収支予算決算比較（税込）

(1) 収 入

(単位：千円、%)

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	増減額 ②-①	収入率 ②/①
下水道事業収益	2,593,783	2,506,389	△ 87,394	96.6
営業収益	615,011	600,835	△ 14,176	97.7
下水道使用料	588,594	576,648	△ 11,946	98.0
他会計負担金	26,100	23,800	△ 2,300	91.2
その他営業収益	317	387	70	122.2
営業外収益	1,978,772	1,905,553	△ 73,219	96.3
受取利息及び配当金	400	1,396	996	349.0
補助金	514	516	2	100.4
他会計補助金	1,039,906	1,042,206	2,300	100.2
長期前受金戻入	821,816	772,880	△ 48,936	94.0
雑収益	1,336	2,731	1,395	204.4
消費税及び地方消費税還付金	114,800	85,824	△ 28,976	74.8
特別利益	0	0	0	0.0
その他特別利益	0	0	0	0.0

(2) 支 出

(単位：千円、%)

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	不用額 ①-②	執行率 ②/①
下水道事業費用	2,797,945	2,622,325	175,620	93.7
営業費用	2,473,667	2,333,775	139,892	94.3
管渠費	134,654	105,034	29,620	78.0
ポンプ場費	54,459	46,384	8,075	85.2
処理場費	478,788	457,302	21,486	95.5
雨水事業費	27,062	23,633	3,429	87.3
浄化槽費	191,363	173,719	17,644	90.8
水洗化普及費	7,982	6,887	1,095	86.3
業務費	26,936	25,244	1,692	93.7
総係費	73,905	69,774	4,131	94.4
減価償却費	1,408,834	1,405,066	3,768	99.7
資産減耗費	69,684	20,732	48,952	29.8
営業外費用	307,278	288,550	18,728	93.9
支払利息及び企業債取扱諸費	296,049	284,217	11,832	96.0
雑支出	11,229	4,333	6,896	38.6
特別損失	0	0	0	-
減損損失	0	0	0	-
予備費	17,000	0	17,000	0.0
予備費	17,000	0	17,000	0.0

別表13 下水道事業資本の収支予算決算比較（税込）

(1) 収入

(単位：千円、%)

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	増減額 ②-①	収入率 ②/①
資本の収入	3,796,383	㉞ 2,114,449	△ 1,681,934	55.7
負担金	95,107	72,492	△ 22,615	76.2
受益者負担金	91,580	72,492	△ 19,088	79.2
工事負担金	3,527	0	△ 3,527	0.0
企業債	2,602,700	1,374,400	△ 1,228,300	52.8
企業債	2,602,700	1,374,400	△ 1,228,300	52.8
補助金	832,876	401,857	△ 431,019	48.2
国庫補助金	820,307	389,437	△ 430,870	47.5
府補助金	2,546	2,554	8	100.3
他会計補助金	10,023	9,866	△ 157	98.4
出資金	265,700	265,700	0	100.0
他会計出資金	265,700	265,700	0	100.0
固定資産売却代金	0	0	0	0.0
固定資産売却代金	0	0	0	0.0

(2) 支出

(単位：千円、%)

科 目 \ 項 目	予 算 額 ①	決 算 額 ②	翌年度 繰越額③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①
資本の支出	4,502,400	㉞ 2,834,495	1,419,870	248,035	63.0
建設改良費	2,876,691	1,208,789	1,419,870	248,032	42.0
事務費	29,680	26,441	0	3,239	89.1
固定資産取得費	9,190	8,810	0	380	95.9
管渠整備事業費	2,338,447	932,298	1,206,370	199,779	39.9
管渠改良事業費	61,059	40,456	11,200	9,403	66.3
ポンプ場改良事業費	43,247	30,137	9,400	3,710	69.7
処理場改良事業費	147,224	40,922	101,900	4,402	27.8
雨水施設改良事業費	183,087	70,076	91,000	22,011	38.3
浄化槽整備事業費	64,757	59,649	0	5,108	92.1
企業債償還金	1,625,709	1,625,706	0	3	100.0
企業債償還金	1,625,709	1,625,706	0	3	100.0

(3) 資本の収入額が資本の支出額に対して不足する額

(単位：千円)

項 目	金 額	備 考
資本の収支差引額 ㉞-㉟	△ 720,046	
補てん財源	720,046	
消費税及び地方消費税資本の収支調整額	67,366	
引継金	3,744	
過年度分損益勘定留保資金	535,136	
当年度分損益勘定留保資金	113,800	

別表 14

下水道事業損益計算書（税抜）

（単位：千円、％）

項 目 年 度	令和7年度 ①	令和6年度 ②	対 前 年 比	
			金 額③ (①-②)	比率③/②*100
下水道事業収益 (A)	2,368,005	2,287,622	80,383	3.5
営業収益 (C)	548,459	550,867	△ 2,408	△ 0.4
下水道使用料	524,272	524,287	△ 15	△ 0.0
他会計負担金	23,800	26,092	△ 2,292	△ 8.8
その他営業収益	387	488	△ 101	△ 20.7
営業外収益	1,819,546	1,736,755	82,791	4.8
受取利息	1,396	503	893	177.5
府補助金	516	587	△ 71	△ 12.1
他会計補助金	1,042,206	954,314	87,892	9.2
長期前受金戻入	772,880	779,984	△ 7,104	△ 0.9
雑収益	2,548	1,367	1,181	86.4
特別利益	0	0	0	—
その他特別利益	0	0	0	—
下水道事業費用 (B)	2,552,676	2,529,360	23,316	0.9
営業費用	2,264,137	2,229,510	34,627	1.6
管渠費	96,403	89,549	6,854	7.7
ポンプ場費	42,179	40,396	1,783	4.4
処理場費	419,632	406,408	13,224	3.3
雨水施設費	21,680	23,581	△ 1,901	△ 8.1
浄化槽費	159,486	154,951	4,535	2.9
水洗化普及費	6,828	7,495	△ 667	△ 8.9
業務費	23,083	19,956	3,127	15.7
総係費	69,048	64,164	4,884	7.6
減価償却費	1,405,066	1,395,088	9,978	0.7
資産減耗費	20,732	27,921	△ 7,189	△ 25.7
営業外費用	288,539	299,850	△ 11,311	△ 3.8
支払利息 (D)	284,217	289,743	△ 5,526	△ 1.9
雑支出	4,322	10,107	△ 5,785	△ 57.2
特別損失	0	0	0	—
減損損失	0	0	0	—
その他特別損失	0	0	0	—
当年度純損益 (A)-(B)	△ 184,671	△ 241,738	57,067	△ 23.6
総収支比率 (A)/(B)	92.8	90.4	2.4	
支払利息/営業収益 (D)/(C)	51.8	52.6	△ 0.8	

別表 15 下水道事業経営の安定度に関する指標

(単位：％)

年度 項目	令和7年度	令和6年度	令和5年度	備 考
総収支比率	92.8	90.4	88.3	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$ 経営収支の均衡度を総収益対費用の関係で見る指標。高い数値の方が好ましい。 この率が100%未満であれば、純損失を生じている。
公共下水道	99.3	92.5	89.9	
類似団体全国平均値	—	104.1	110.8	
特定環境保全公共下水道	92.4	87.8	88.9	
類似団体全国平均値	—	103.1	102.5	
農業集落排水処理施設	89.1	90.5	86.6	
類似団体全国平均値	—	104.5	114.6	
漁業集落排水処理施設	63.5	85.8	99.1	
類似団体全国平均値	—	102.0	76.7	
浄化槽整備	66.8	88.2	81.7	
類似団体全国平均値	—	101.8	111.9	
経常収支比率	92.8	90.4	89.2	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$ 特別損益を除いた経常的な収支の関係を見る指標。高い数値の方が好ましい。 100%を超える場合は単年度黒字を、100%未満は単年度赤字を表す。
公共下水道	99.3	92.5	89.9	
類似団体全国平均値	—	103.8	103.6	
特定環境保全公共下水道	92.4	87.8	88.9	
類似団体全国平均値	—	103.2	102.3	
農業集落排水処理施設	89.1	90.5	93.3	
類似団体全国平均値	—	103.9	100.1	
漁業集落排水処理施設	63.5	85.8	99.1	
類似団体全国平均値	—	100.6	77.5	
浄化槽整備	66.8	88.2	81.7	
類似団体全国平均値	—	101.3	102.2	
営業収支比率	24.2	24.7	25.0	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事費収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費}} \times 100$ 通常の営業活動に要する費用を、営業活動に必要なものとして徴収している給水収益等の営業収益で、どの程度賄っているかを示す指標。高い数値の方が好ましい。100%未満の場合は健全経営とはいえない。
公共下水道	25.5	25.6	25.1	
特定環境保全公共下水道	23.5	24.4	24.3	
農業集落排水処理施設	26.5	27.8	31.7	
漁業集落排水処理施設	16.3	16.6	20.0	
浄化槽整備	18.9	19.1	19.4	

※ 5事業全てを実施している類似団体は無いため、各事業ごとに同じ区分の団体を掲載した。

別表16

下水道事業資産

(単位：千円、%)

年 度 項 目		令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	対 前 年 比	
				金 額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
固定資産	土 地	1,761,301	1,761,301	0	0.0
	建 物	2,230,615	2,307,762	△ 77,147	△ 3.3
	構 築 物	33,599,269	33,705,675	△ 106,406	△ 0.3
	機 械 及 び 装 置	4,615,362	4,756,434	△ 141,072	△ 3.0
	車 両 運 搬 具	379	579	△ 200	△ 34.5
	工具器具及び備品	10,648	4,811	5,837	121.3
	建 設 仮 勘 定	0	4,573	△ 4,573	△ 100.0
	小 計	42,217,574	42,541,135	△ 323,561	△ 0.8
流動資産	現 金 預 金	71,177	561,817	△ 490,640	△ 87.3
	未 収 金	154,850	176,611	△ 21,761	△ 12.3
	貸 倒 引 当 金	△ 4,731	△ 5,002	271	△ 5.4
	貯 蔵 品	3,290	3,735	△ 445	△ 11.9
	前 払 金	474,835	273,546	201,289	73.6
	その他流動資産	0	0	0	—
	小 計	699,421	1,010,707	△ 311,286	△ 30.8
合 計		42,916,995	43,551,842	△ 634,847	△ 1.5

別表17

下水道事業負債

(単位：千円、%)

年 度 項 目		令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	対 前 年 比	
				金 額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
固定負債	企 業 債	21,603,816	21,764,205	△ 160,389	△ 0.7
	引 当 金	0	0	0	—
	その他固定負債	0	0	0	—
	小 計	21,603,816	21,764,205	△ 160,389	△ 0.7
流動負債	一 時 借 入 金	0	0	0	—
	企 業 債	1,648,589	1,625,706	22,883	1.4
	未 払 金	210,775	522,245	△ 311,470	△ 59.6
	前 受 金	171,185	123,487	47,698	38.6
	引 当 金	9,134	8,895	239	2.7
	その他流動負債	21,081	2,009	19,072	949.3
	小 計	2,060,764	2,282,343	△ 221,579	△ 9.7
繰延収益	長 期 前 受 金	23,486,600	23,060,820	425,780	1.8
	収 益 化 累 計 額	△ 4,480,340	△ 3,720,652	△ 759,688	20.4
	小 計	19,006,259	19,340,168	△ 333,909	△ 1.7
合 計 (ア)		42,670,839	43,386,715	△ 715,876	△ 1.6

別表18

下水道事業資本金

(単位：千円、%)

年 度 項 目		令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	対 前 年 比	
				金 額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
自己資本金	自 己 資 本 金	2,844,893	2,579,193	265,700	10.3
借入資本金	企 業 債	—	—	—	—
合 計 (イ)		2,844,893	2,579,193	265,700	10

別表19

下水道事業剰余金

(単位：千円、%)

年 度 項 目		令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	対 前 年 比	
				金 額(C) (A-B)	比率(C/B*100)
資 本 剰 余 金	再 評 価 積 立 金	0	0	—	—
	受 益 者 負 担 金	0	0	—	—
	補 助 金	712,457	712,457	0	0.0
	受 贈 財 産 評 価 額	286,062	286,062	0	0.0
	寄 附 金	0	0	—	—
	工 事 負 担 金	0	0	—	—
	そ の 他	19,555	19,555	0	0.0
	小 計	1,018,074	1,018,074	0	0.0
利 益 剰 余 金	減 債 積 立 金	0	0	—	—
	建 設 改 良 積 立 金	0	0	—	—
	当年度未処分利益剰余金	△ 3,616,811	△ 3,432,141	△ 184,670	△ 5.4
	(うち当年度純利益)	(△ 184,671)	(△ 241,738)	(57,067)	23.6
	小 計	△ 3,616,811	△ 3,432,141	△ 184,670	△ 5.4
合 計 (ウ)		△ 2,598,737	△ 2,414,067	△ 184,670	△ 7.6

資 本 合 計 (イ)+(ウ)	246,156	165,126	81,030	49.1
負債資本合計 (ア)+(イ)+(ウ)	42,916,995	43,551,842	△ 634,847	△ 1.5

別表20 下水道使用料未収金及び不納欠損額（税込）

3月31日現在

（単位：円、件）

	未 収 金				不 納 欠 損			
	令和7年度		令和6年度		令和7年度		令和6年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
令和7年度	13,747	49,730,622			0	0		
令和6年度	578	1,832,833	13,483	50,107,581	0	0	0	0
令和5年度	441	1,486,261	561	1,759,391	2	2,343	0	0
令和4年度	416	1,456,307	522	1,720,676	0	0	1	209
令和3年度	316	1,196,816	430	1,568,877	0	0	5	2,188
令和2年度	247	1,059,538	366	1,439,068	17	50,475	0	0
令和元年度	206	947,790	302	1,319,386	49	160,107	35	85,962
平成30年度	161	796,890	248	1,088,819	40	141,245	11	34,800
平成29年度	133	599,912	194	837,908	30	124,515	0	0
平成28年度	88	533,576	102	600,534	11	56,785	0	0
平成27年度	94	487,202	114	576,725	7	37,443	0	0
平成26年度	129	810,520	143	858,999	1	5,349	0	0
平成25年度	95	612,154	110	664,346	1	3,800	0	0
平成24年度	74	460,040	78	488,109	1	1,005	1	20
平成23年度	48	264,281	58	386,564	0	0	1	300
平成22年度	64	310,898	64	310,898	0	0	0	0
平成21年度	7	11,795	16	48,655	9	36,860	0	0
平成20年度	0	0	6	19,616	6	19,616	0	0
合 計	16,844	62,597,435	16,797	63,796,152	174	639,543	54	123,479

別表21 受益者分担金未収金及び不納欠損額（税込）

3月31日現在

（単位：円、件）

	未 収 金				不 納 欠 損			
	令和7年度		令和6年度		令和7年度		令和6年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
令和7年度	20	1,606,900			0	0		
令和6年度	4	96,000	24	2,430,000	0	0	0	0
令和5年度	1	90,000	2	410,000	0	0	0	0
令和4年度	4	168,000	4	168,000	0	0	0	0
令和3年度	4	168,000	4	168,000	0	0	0	0
令和2年度	0	0	4	104,000	0	0	0	0
令和元年度	2	52,000	2	52,000	0	0	0	0
平成30年度	4	104,000	4	104,000	0	0	0	0
平成29年度	4	104,000	4	104,000	0	0	0	0
平成28年度	1	17,469	1	17,469	0	0	0	0
平成27年度	0	0	0	0	0	0	0	0
平成26年度	1	90,000	1	90,000	0	0	0	0
平成25年度	1	90,000	1	90,000	0	0	0	0
平成24年度	1	28,788	1	28,788	0	0	0	0
平成23年度	1	45,529	1	65,000	0	0	0	0
平成22年度	0	0	0	0	0	0	0	0
平成21年度	0	0	0	0	0	0	0	0
平成20年度	0	0	0	0	0	0	0	0
平成19年度	3	63,000	3	63,000	0	0	0	0
平成18年度	12	264,000	12	264,000	0	0	0	0
平成17年度	8	163,400	9	173,400	1	10,000	0	0
平成16年度	3	66,000	3	66,000	0	0	1	2,000
合 計	74	3,217,086	80	4,397,657	1	10,000	1	2,000

京丹後市病院事業会計

1 事業の概況

事業の概要は、別表 22 のとおりである。

一般病床と療養病床を合わせた入院患者数は、弥栄病院が延 38,373 人（1 日平均 105.1 人）、久美浜病院が延 43,492 人（同 119.2 人）で、前年度に比べて弥栄病院が 735 人（同 2 人）の減少、久美浜病院が 7,942 人（同 21.7 人）の減少となった。

外来患者数は、弥栄病院が延 79,574 人（1 日平均 328.8 人）、久美浜病院が延 70,142 人（同 289.8 人）となり、前年度に比べて弥栄病院は 3,425 人の減少、久美浜病院は 11,463 人の減少となった。

病床利用率は、弥栄病院は、前年度に比べて 2.3 ポイント増加し 70.1%に、久美浜病院は 12.8 ポイント減少し 70.1%の結果となった。

弥栄病院では、昨年度に引き続き受け入れ体制の関係から一般病床 199 床のうち 49 床を休床とし、必要病床を確保しながら稼働病床数を減少させ、150 床として運営を行った。（令和 6 年度は 4 月～11 月までが一般病床 199 床のうち休床 37 床、12 月から休床 49 床）

久美浜病院では、府県境を越え、隣接する但馬地域の病院や診療所からの患者を受け入れ、北近畿圏内の病院や診療所との連携強化に努めている。

(1) 入院患者の状況

入院患者の状況は、別表 23、別表 26 及び別表 27 のとおりである。

一般病床においては、弥栄病院では内科、外科、総合診療科で患者数が増加したものの、整形外科、産婦人科、小児科、人工透析等で減少し、延患者数は 38,373 人と、前年度に比べて 735 人の減少となった。また、久美浜病院では外科、小児科、泌尿器科で患者数が増加したものの、内科、整形外科、眼科、歯科・歯科口腔外科で減少し、延患者数は 26,087 人と、前年度に比べて 5,829 人の減少となった。

療養病床においては、久美浜病院で 17,405 人と前年度に比べて 2,113 人の減少となった。

施設の利用状況を表す病床利用率は、別表 29 のとおりである。

弥栄病院の一般病床の利用率は 70.1%で、患者数は減少したものの、稼働病床の違いにより前年度に比べて 2.3 ポイント増加となった。

久美浜病院の一般病床の利用率は 65.0%で、前年度に比べて 14.5 ポイント減少し、療養病床では 79.5%と 9.6 ポイント減少した。

(2) 外来患者の状況

外来患者の状況は、別表 23 及び別表 28 のとおりである。

弥栄病院では、内科、産婦人科、眼科、人工透析などで患者数が減少し、外科、精神科で増加したが、延患者数は 79,574 人と、前年度に比べ 3,425 人の減少となった。

久美浜病院では、内科、整形外科、小児科、歯科・歯科口腔外科などで患者数が減少し、泌尿科で増加したが、延患者数は 70,142 人と、前年度に比べ 11,463 人の減

少となった。

(3) 訪問看護事業の状況

訪問看護事業の状況は、別表 24 のとおりである。

弥栄病院では、訪問実人数は 2,786 人で前年度に比べ 157 人の減少、訪問延人数は 12,140 人で前年度に比べ 105 人の減少となった。久美浜病院では、訪問実人数は 1,652 人で前年度に比べ 35 人の減少となり、訪問延人数は 8,516 人で前年度に比べ 154 人の増加となった。

(4) 通所リハビリテーション事業の状況

通所リハビリテーション事業の状況は、別表 25 のとおりである。

平成 19 年度から久美浜病院で実施されている事業であり、通所実人数は 549 人で前年度に比べ 2 人の増加となった。また、通所延人数は 3,844 人で 235 人の増加となった。

2 予算執行状況（税込）

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入及び支出の執行状況は、別表 32、別表 33 のとおりである。

収益的収入である病院事業収益は、64 億 5,637 万 9 千円であった。

弥栄病院事業収益は、前年度に比べて 111 万 4 千円減少しており、その内訳は医業外収益が 6,511 万 2 千円、特別利益が 664 万 2 千円増加し、医業収益が 7,168 万 3 千円、訪問介護事業収益が 118 万 5 千円の減少である。

久美浜病院事業収益は、前年度に比べて 2 億 9,068 万 5 千円減少しており、その内訳は医業外収益が 8,609 万 6 千円、訪問介護事業収益が 302 万 2 千円、通所リハビリテーション事業収益が 235 万 6 千円増加し、医業収益が 3 億 7,486 万円、特別利益が 729 万 9 千円の減少である。

収益的支出である病院事業費用は、77 億 4,108 万 9 千円であった。不用額は総額 5 億 4,323 万 3 千円となっている。

弥栄病院事業費用は、前年度に比べて 2 億 4,201 万 7 千円増加しており、その内訳は、訪問看護事業費用が 75 万 9 千円の減少、医業費用が 2 億 1,774 万 3 千円、医業外費用が 1,400 万 5 千円、特別損失が 1,102 万 8 千円の増加である。久美浜病院事業費用は、前年度に比べて 6,177 万 1 千円増加しており、医業費用が 4,095 万 8 千円、医業外費用が 598 万 5 千円、特別損失が 680 万 6 千円など全てで増加である。

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入及び支出の執行状況は、別表 33 のとおりである。

資本的収入は5億9,052万9千円、資本的支出は7億8,918万2千円であった。

改良工事に関しては6,372万9千円（弥栄病院6,100万6千円、久美浜病院272万3千円）支出し、器械及び備品整備については1億5,265万5千円（弥栄病院7,691万5千円、久美浜病院7,574万円）を支出した。医師の確保など診療の充実を目指した投資などを行っている。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額1億9,865万3千円は、一時借入金で措置している。

3 経営成績（税抜）

損益計算書による経営成績は、別表34のとおりである。

総収益64億2,984万4千円に対して総費用77億2,076万4千円で、差し引き12億9,092万円の純損失となっている。この結果、前年度繰越欠損金46億1,144万6千円を加え、当年度未処理欠損金（累積欠損金）は、59億236万6千円となっている。

病院別の状況については、弥栄病院の総収益は36億4,180万1千円、総費用は44億3,983万8千円で、差し引き7億9,803万7千円の純損失となり、当年度未処理欠損金は、36億3,725万9千円となっている。医業収益は28億9,146万3千円で、前年度に比べて7,101万円減少、医業費用は41億1,646万7千円と、前年度に比べて2億1,063万2千円増加し、医業損失は12億2,500万4千円で前年度と比べ2億8,164万2千円の増加となり、悪化している。

次に、久美浜病院の総収益は27億8,804万3千円、総費用は32億8,092万6千円で、差し引き4億9,288万3千円の純損失となり、当年度未処理欠損金は22億6,510万7千円となっている。医業収益は21億8,967万2千円で、前年度に比べて3億7,475万4千円の減少となった。医業費用は30億6,664万7千円と、前年度に比べて5,827万円増加しており、医業損失は8億7,697万5千円で前年度と比べ4億3,302万4千円の増加となり、こちらも悪化している。

医業における経営状態を示す比率は、別表31のとおりである。

経常収支比率は、収益と費用を対比して経営活動の成果を示すものであり、比率が大きいほど良好であるが、前年度に比べて7.2ポイントの減少（弥栄病院4.7ポイントの減少、久美浜病院10.6ポイントの減少）となった。

医業収益対医業費用比率は、医業費用に対する医業収益の比率を示すものであり、100%未満は医業収支が赤字であることになる。前年度に比べて9.0ポイントの減少（弥栄病院5.5ポイントの減少、久美浜病院13.5ポイントの減少）となった。

4 財政状態（税抜）

貸借対照表による財政状態は、別表 35～38 のとおりである。

資産の総額は 83 億 6,114 万 7 千円で、前年度に比べて 5 億 7,798 万 1 千円減少している。

固定資産は、総額で 4 億 3,887 万 3 千円減少しており、主な内訳として、建物が 2 億 4,190 万 4 千円、構築物が 1,628 万 5 千円、器械及び備品が 1 億 5,554 万円など減少し、リース資産が 1,814 万 5 千円、建設仮勘定が 71 万 5 千円増加している。

診療費の未収金の状況は、次のとおりである。

令和 8 年 3 月 31 日現在

(単位：千円)

区 分	令和 7 年度			令和 6 年度		
	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
未 収 金	50,616	31,377	19,239	51,457	32,564	18,893
不納欠損	0	0	0	2,954	2,486	468

未収金の総額は 5,061 万 6 千円で、前年度に比べて 84 万 1 千円減少（弥栄病院は 118 万 7 千円の減少、久美浜病院は 34 万 6 千円の増加）している。

負債の総額は 103 億 3,175 万 2 千円で、前年度に比べて 6 億 8,597 万 6 千円増加している。固定負債では企業債が 6 億 2,878 万 7 千円増加しており、流動負債では一時借入金 3 億 1,400 万円、企業債が 9,870 万 4 千円など増加しており、減少は未払金が 4 億 6,735 万 8 千円となっている。

資本合計はマイナス 19 億 7,060 万 4 千円で、前年度に比べて 12 億 6,395 万 6 千円減少している。

企業債の状況は次のとおりである。

(単位：千円)

区 分	令和 6 年度 末残高	令和 7 年度		令和 7 年度 末残高	令和 7 年度 支払利息
		発行額	償還額		
弥栄病院	5,694,477	687,700	365,996	6,016,181	33,448
久美浜病院	911,184	594,000	188,212	1,316,972	7,191
合 計	6,605,661	1,281,700	554,208	7,333,153	40,639

企業債残高は、73 億 3,315 万 3 千円で、前年度に比べて 7 億 2,749 万 2 千円増加している。

病院別の状況については、弥栄病院では、企業債残高は 60 億 1,618 万 1 千円で、前年度に比べて 3 億 2,170 万 4 千円増加している。企業債利息は 3,344 万 8 千円で、医業収益 28 億 9,146 万 3 千円に占める割合は 1.2%（前年度 0.1%）増加している。

次に、久美浜病院では、企業債残高は 13 億 1,697 万 2 千円で、前年度に比べて 4 億 578 万 8 千円増加している。企業債利息は 719 万 1 千円で、医業収益 21 億 8,967 万 2 千円に占める割合は 0.3%（前年度 0.3%）と変わっていない。

5 むすび

弥栄病院では、病院間や病診間の地域医療の連携強化に取り組み、病院間連携では京都府立医科大学附属北部医療センターと緊急対応や転院促進など様々なテーマで協議を行い、病診連携では、丹後医療圏内の 15 診療所を訪問し、互いに「顔が見える」関係づくりの構築に取り組んだ。久美浜病院では、深刻な医師不足となり、整形外科では常勤医不在、内科では常勤医が 1 名減という過去に例のない状況の中で、住民一人ひとりに「寄り添いささえきる」地域づくりに取り組むとともに、小児医療の充実を図り、口腔疾患予防、訪問看護や通所リハビリテーション等の在宅医療の拡充などに取り組んだ。

病院の医師体制について、弥栄病院では、京都大学から派遣していただいている産婦人科・小児科の医師を含め 13 人体制でスタートし、常勤医師以外にも京都府立医科大学及び京都府立大学附属北部医療センター、京都大学、関西医科大学などから医師の派遣を受け、医療提供体制を整えた。久美浜病院では、17 人体制でスタートしたが整形外科の常勤医が不在となったことにより、入院にて手術等を行うことができなくなり、入院患者の受け入れができなかった。また、内科は 4 月当初では、4 人体制であったが、7 月には 1 人減となる 3 人体制となり、10 月から常勤医師 1 人の着任があったが 12 月末に常勤医師が退職するなど、安定的な診療体制の確保には至らなかった。しかし、内科医師確保に向け様々な活動を行い、この間、京都第二赤十字病院から救急医師延 6 人などの派遣いただくとともに、洛和会音羽病院より内科専攻医 2 人の支援を受け、医療提供体制の維持に努めた。

両市立病院とも、医師体制が充実しているとは言えない中、医師不足の解消に向けて精力的に招へい活動をするなどの努力により、関係機関からの医師の派遣を受けるなどして、患者需要に応じていただいた。しかしながら、依然として医師の獲得につながりにくい状況にあり、引き続き多方面からの招へい活動に尽力されたい。

経常収支については、両市立病院とも赤字決算となった。

収益面を見ると、弥栄病院では外来収益が前年度比 5.5%の増加、入院収益は 4.6%の減少となった。総収益では前年度比 28 万 2 千円の減収となり、久美浜病院では入院収益が前年度比 16.4%の減少、外来収益が 12.0%の減少となり、総収益で前年度

比 2 億 9,026 万 8 千円の減収となった。

費用面を見ると、両市立病院とも人件費が増加しており、弥栄病院では、資産減耗費、研究研修費が減少し、経費が増加し、総費用では、前年度比 2 億 4,184 万 3 千円の増加となった。久美浜病院では材料費、経費が減少し、減価償却費が増加し、総費用が前年度比 7,079 万 7 千円の増加となった。

これらをあわせると純損益で弥栄病院は前年度比 2 億 4,212 万 5 千円の減収となり、久美浜病院では前年度比で 3 億 6,106 万 5 千円の減収となった。

資金不足比率は 8.4%と 0.7 ポイント増加し、更にマイナス幅が大きくなった。

特に病院の本業である医業損失の改善が急務であり、安定した収益の確保が重要な課題である。診療科別の患者動向及び診療収益の分析を通じて、患者のニーズに応えられるよう、常勤医師体制の充実と各部門間の連携強化により、医療体制の改善に取り組む必要がある。

患者負担分の診療費未収金は、前年度比で改善が見られた。これは滞納整理の強化による成果と評価できるが、依然として相当額の未収金が残存している。先進自治体の事例を参考にしながら、より一層の徴収強化に努められたい。なお、令和 7 年度においては不納欠損処理の実施はなかった。回収の見込みが立たない債権については、定められた基準に従い適切に不納欠損処理を行うことで、負担の公平性、経営の健全化を推し進める観点から、関係部局との連携を密にし、滞納整理への組織的な対応を強化されたい。また、未収金の発生防止と早期回収が重要である。現年度の未収金が生じないための予防策の充実と、発生した場合の迅速な回収体制の整備を通じて、債権管理の適正化と徴収事務の効率化に努められたい。

市全体の医療提供体制の充実を図るため、市立診療所を含めた統合的な医療体制により、地域医療・救急医療・周産期医療・小児医療・在宅医療・リハビリテーション等、多層的で必要な医療サービスを継続的に提供し、公的医療機関としての責務を果たす必要がある。このため、達成可能な経営改善の具体的方策を持って、持続可能な運営体制の確立を急ぐべきである。併せて、病院施設・設備については長期的視点に基づく計画的な整備を進め、患者サービスの質的向上と医療水準の維持・向上に活用されたい。

医療環境の急速な変化と患者ニーズの多様化への対応が求められている。全職員が経営意識を常に持ちながら、両市立病院の特性を活かした医療サービスの充実と経営効率化に組織的に取り組むことが必要である。地域に根ざした良質で必要とされる医療サービスを安定的に提供し続けるためには、中長期的な経営戦略に基づき、堅牢な経営基盤の構築が不可欠である。この実現を強く期待するものである。

決 算 審 査 資 料

(病 院 事 業 会 計)

病院事業会計 決算審査資料

別表22	病院事業の概要	45
別表23	入院患者・外来患者の状況	46
別表24	訪問看護の状況	46
別表25	通所リハビリテーションの状況	46
別表26	診療科目別入院患者の状況（一般病床）	47
別表27	診療科目別入院患者の状況（療養病床）	48
別表28	診療科目別外来患者の状況	49
別表29	病床利用率	50
別表30	患者1人1日当たり診療収入	50
別表31	収支比率	50
別表32	収益的収支（税込）	51
別表33	資本的収支（税込）	52
別表34	損益計算書（税抜）	53
別表35	資産	55
別表36	負債	55
別表37	資本金	56
別表38	剰余金	56
別表39	診療費未収金	57

（注）表中の数値は、基本的に表示数値未満を四捨五入（収入率及び執行率は、小数点第2位を切捨て）しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

別表22

病院事業の概要

項 目			単位	弥 栄 病 院			久 美 浜 病 院			
				令和7年度	令和6年度	対前年比	令和7年度	令和6年度	対前年比	
医 業	病 床 数 ※1		床	199	199	0	170	170	0	
			年 間 延	床	54,750	57,678	△ 2,928	62,050	62,050	0
	患 者 数	入 院	年 間 延	人	38,373	39,108	△ 735	43,492	51,434	△ 7,942
			1日平均	人	105.1	107.1	△ 2.0	119.2	140.9	△ 21.7
		外 来	年 間 延	人	79,574	82,999	△ 3,425	70,142	81,605	△ 11,463
			1日平均	人	328.8	341.6	△ 12.8	289.8	335.8	△ 46.0
	病床利用率		%	70.1	67.8	2.3	70.1	82.9	△ 12.8	
	外来診療実日数		日	242	243	△ 1	242	243	△ 1	
	医業費用(税抜)		千円	4,116,467	3,905,835	210,632	3,066,647	3,008,377	58,270	
	医業収益(税抜)		千円	2,891,463	2,962,473	△ 71,010	2,189,672	2,564,427	△ 374,755	
	入 院 外 来 収 益 (税 抜)	入 院	総 額	千円	1,613,483	1,692,005	△ 78,522	1,306,973	1,564,068	△ 257,095
			1人1日平 均	円	42,047	43,265	△ 1,218	30,051	30,409	△ 358
		外 来	総 額	千円	848,987	804,390	44,597	613,579	697,480	△ 83,901
			1人1日平 均	円	10,669	9,692	977	8,748	8,547	201
訪問看護事業（事業日数は外来診療実日数に同じ）	訪問実人数		人	2,786	2,943	△ 157	1,652	1,687	△ 35	
	訪問延人数		人	12,140	12,245	△ 105	8,516	8,362	154	
	1日平均訪問患者数		人	50.2	50.4	△ 0.2	35.0	34.4	0.6	
通所リハビリテーション事業（事業日数は弥栄病院は243日、久美浜病院は242日）	通所実人数		人				549	547	2	
	通所延人数		人				3,844	3,609	235	
	1日平均通所患者数		人				15.8	14.9	0.9	
職 員 数 (年度末現在)	医 師		人	15	16	△ 1	18	21	△ 3	
	看 護 師 ※2		人	173	168	5	170	169	1	
	そ の 他		人	106	108	△ 2	98	102	△ 4	
	計		人	294	292	2	286	292	△ 6	

※1 弥栄病院は、一般病床199床のうち、(4月～3月)実稼働病床150床、休床49床。

※2 職員数の看護師には助産師・准看護師・介護福祉士・看護助手・介護助手を含む

別表23

入院患者・外来患者の状況

(単位：人、%)

区 分 \ 年 度		令和7年度		令和6年度		対 前 年 比	
		延患者数 (A)	1日平均 患者数	延患者数 (B)	1日平均 患者数	増減 (C) = (A-B)	比率 (C)/(B) ×100
入 院	一般病床 (309床)	64,460	176.6	71,024	194.5	△ 6,564	△ 9.2
	弥栄病院 (199床)	38,373	105.1	39,108	107.1	△ 735	△ 1.9
	久美浜病院 (110床)	26,087	71.5	31,916	87.4	△ 5,829	△ 18.3
	療養病床 (60床)	17,405	47.7	19,518	53.5	△ 2,113	△ 10.8
	弥栄病院 (0床)	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	久美浜病院 (60床)	17,405	47.7	19,518	53.5	△ 2,113	△ 10.8
外 来	合 計	149,716	618.6	164,604	677.4	△ 14,888	△ 9.0
	弥栄病院 診療実日数 (242日)	79,574	328.8	82,999	341.6	△ 3,425	△ 4.1
	久美浜病院 診療実日数 (242日)	70,142	289.8	81,605	335.8	△ 11,463	△ 14.0

※1 弥栄病院は、一般病床199床のうち、(4月～3月)実稼働病床150床、休床49床。

別表24

訪問看護の状況

(単位：人)

区 分 \ 年 度		令和7年度			令和6年度			対 前 年 比	
		訪 問 実人数 (A)	訪 問 延人数 (B)	1日平均 訪 問 患者数	訪 問 実人数 (C)	訪 問 延人数 (D)	1日平均 訪 問 患者数	増減 (A)-(C)	増減 (B)-(D)
合 計		4,438	20,656	85.2	4,630	20,607	84.8	△ 192	49
弥栄病院		2,786	12,140	50.2	2,943	12,245	50.4	△ 157	△ 105
久美浜病院		1,652	8,516	35.0	1,687	8,362	34.4	△ 35	154

別表25

通所リハビリテーションの状況

(単位：人、%)

区 分 \ 年 度		令和7年度			令和6年度			対 前 年 比	
		通 所 実人数 (A)	通 所 延人数 (B)	1日平均 通 所 患者数	通 所 実人数 (C)	通 所 延人数 (D)	1日平均 通 所 患者数	増減 (A)-(C)	増減 (B)-(D)
合 計		549	3,844	15.8	547	3,609	14.9	2	235
弥栄病院									
久美浜病院		549	3,844	15.8	547	3,609	14.9	2	235

別表 26

診療科目別入院患者の状況(一般病床)

診療科	年 度	令和7年度			令和6年度			対前年比	
		延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人
199 床 ※1	弥栄病院								
	内 科	20,301	55.6	52.9	19,284	52.8	49.3	1,017	2.8
	外 科	1,450	4.0	3.8	1,379	3.8	3.5	71	0.2
	整形外科	8,243	22.6	21.5	9,613	26.3	24.6	△ 1,370	△ 3.7
	産婦人科	763	2.1	2.0	1,077	3.0	2.8	△ 314	△ 0.9
	小児科	220	0.6	0.6	319	0.9	0.8	△ 99	△ 0.3
	耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	1	0.0	0.0	△ 1	0.0
	眼 科	1,364	3.7	3.5	1,381	3.8	3.5	△ 17	△ 0.1
	泌尿器科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	人工透析	3,304	9.0	8.6	3,558	9.7	9.1	△ 254	△ 0.7
	リハビリテーション科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	皮膚科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	総合診療科	2,728	7.5	7.1	2,496	6.8	6.4	232	0.7
	精神科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	小 計	38,373	105.1	100.0	39,108	107.1	100.0	△ 735	△ 2.0
110 床	久美浜病院								
	内 科	13,535	37.1	51.9	17,715	48.6	55.6	△ 4,180	△ 11.5
	外 科	7,251	19.9	27.8	5,182	14.2	16.2	2,069	5.7
	整形外科	0	0.0	0.0	4,100	11.2	12.8	△ 4,100	△ 11.2
	小児科	1,090	3.0	4.2	891	2.4	2.8	199	0.6
	皮膚科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	眼 科	96	0.3	0.4	154	0.4	0.5	△ 58	△ 0.1
	耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	泌尿器科	1,397	3.8	5.3	870	2.4	2.7	527	1.4
	歯科・歯科 口腔外科	2,718	7.4	10.4	3,004	8.2	9.4	△ 286	△ 0.8
	心療内科・ 精神科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	小 計	26,087	71.5	100.0	31,916	87.4	100.0	△ 5,829	△ 15.9
合 計		64,460	176.6		71,024	194.5		△ 6,564	△ 17.9

※1 弥栄病院は、一般病床199床のうち、(4月～3月)実稼働病床150床、休床49床。

別表 27

診療科目別入院患者の状況（療養病床）

診療科	年 度	令和7年度			令和6年度			対前年比	
		延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人
0 床	弥栄病院								
	内 科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	外 科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	整形外科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	産婦人科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	小児科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	耳鼻咽喉科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	眼 科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	泌尿器科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	人工透析	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	リハビリテーション科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	皮膚科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	総合診療科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	精神科	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
	小 計	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0
60 床	久美浜病院								
	内 科	10,974	30.1	63.1	12,530	34.4	64.2	△ 1,556	△ 4.3
	外 科	4,748	13.0	27.3	5,524	15.1	28.3	△ 776	△ 2.1
	整形外科	0	0.0	0.0	554	1.5	2.8	△ 554	△ 1.5
	小児科	95	0.3	0.5	0	0.0	0.0	95	0.3
	皮膚科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	眼 科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	耳鼻咽喉科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	泌尿器科	1,588	4.3	9.1	910	2.5	4.7	678	1.8
	歯科・歯科 口腔外科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	心療内科・ 精 神 科	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0
	小 計	17,405	47.7	100.0	19,518	53.5	100.0	△ 2,113	△ 5.8
合 計		17,405	47.7		19,518	53.5		△ 2,113	△ 5.8

別表28

診療科目別外来患者の状況

診療科		令和7年度			令和6年度			対前年比	
		延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人	構成比率 %	延患者数 人	1日平均 患者数 人
弥 栄 病 院	内 科	26,195	108.2	32.9	26,651	109.7	32.1	△ 456	△ 1.5
	外 科	1,618	6.7	2.0	1,441	5.9	1.7	177	0.8
	整形外科	11,211	46.3	14.1	11,383	46.8	13.7	△ 172	△ 0.5
	産婦人科	5,546	22.9	7.0	6,384	26.3	7.7	△ 838	△ 3.4
	小児科	3,281	13.6	4.1	3,569	14.7	4.3	△ 288	△ 1.1
	耳鼻咽喉科	1,690	7.0	2.1	1,893	7.8	2.3	△ 203	△ 0.8
	眼 科	12,102	50.0	15.3	12,819	52.8	15.5	△ 717	△ 2.8
	泌尿器科	1,457	6.0	1.8	1,569	6.5	1.9	△ 112	△ 0.5
	人工透析	6,358	26.3	8.0	6,901	28.4	8.3	△ 543	△ 2.1
	リハビリテーション科	314	1.3	0.4	509	2.1	0.6	△ 195	△ 0.8
	皮膚科	2,305	9.5	2.9	2,320	9.5	2.8	△ 15	0.0
	総合診療科	2,224	9.2	2.8	2,555	10.5	3.1	△ 331	△ 1.3
	精神科	5,273	21.8	6.6	5,005	20.6	6.0	268	1.2
	小 計	79,574	328.8	100.0	82,999	341.6	100.0	△ 3,425	△ 12.8
久 美 浜 病 院	内 科	20,182	83.4	28.7	24,892	102.4	30.4	△ 4,710	△ 19.0
	外 科	5,021	20.7	7.2	5,510	22.7	6.8	△ 489	△ 2.0
	整形外科	4,741	19.6	6.8	6,078	25.0	7.4	△ 1,337	△ 5.4
	小児科	10,886	45.0	15.5	13,280	54.7	16.3	△ 2,394	△ 9.7
	皮膚科	1,195	4.9	1.7	1,288	5.3	1.6	△ 93	△ 0.4
	眼 科	3,064	12.7	4.4	3,411	14.0	4.2	△ 347	△ 1.3
	耳鼻咽喉科	1,053	4.3	1.5	1,218	5.0	1.5	△ 165	△ 0.7
	泌尿器科	3,195	13.2	4.6	3,038	12.5	3.7	157	0.7
	歯科・歯科 口腔外科	20,445	84.5	29.1	22,498	92.6	27.6	△ 2,053	△ 8.1
	心療内科・ 精 神 科	360	1.5	0.5	392	1.6	0.5	△ 32	△ 0.1
	小 計	70,142	289.8	100.0	81,605	335.8	100.0	△ 11,463	△ 46.0
合 計		149,716	618.6		164,604	677.4		△ 14,888	△ 58.8

別表 29 病 床 利 用 率

(単位：％)

区 分	算 出 方 法	年度	令和7年度	令和6年度	令和5年度	対前年比
		病院				
一般病床 ※	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	合 計	67.9	71.5	73.9	△ 3.6
		弥栄病院	70.1	67.8	70.2	2.3
		久美浜病院	65.0	79.5	79.2	△ 14.5
療養病床	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	合 計	79.5	89.1	86.5	△ 9.6
		弥栄病院	0.0	0.0	0.0	0.0
		久美浜病院	79.5	89.1	86.5	△ 9.6

※ 弥栄病院は、一般病床199床のうち、(4月～3月)実稼働病床150床、休床49床。

別表 30 患 者 1 人 1 日 当 たり 診 療 収 入

(単位：円)

区 分	算 出 方 法	年度	令和7年度	令和6年度	令和5年度	対前年比
		病院				
入院診療収入 (一般病床)	$\frac{\text{入 院 収 益}}{\text{年延入院患者数}}$	合 計	40,419	41,331	41,382	△ 912
		弥栄病院	42,047	43,265	44,314	△ 1,218
		久美浜病院	38,025	38,961	37,557	△ 936
入院診療収入 (療養病床)	$\frac{\text{入 院 収 益}}{\text{年延入院患者数}}$	合 計	18,100	16,426	16,611	1,674
		弥栄病院	0	0	0	0
		久美浜病院	18,100	16,426	16,611	1,674
外来診療収入	$\frac{\text{外 来 収 益}}{\text{年延外来患者数}}$	合 計	9,769	9,124	9,221	645
		弥栄病院	10,669	9,692	9,042	977
		久美浜病院	8,748	8,547	9,410	201
訪問看護収入	$\frac{\text{訪問看護事業収益}}{\text{年延訪問看護患者数}}$	合 計	9,491	9,425	9,463	66
		弥栄病院	9,110	9,129	9,115	△ 19
		久美浜病院	10,034	9,857	9,936	177
通所リハビリ収入	$\frac{\text{通所リハビリ事業収益}}{\text{年延通所患者数}}$	合 計	10,793	10,843	10,554	△ 50
		弥栄病院				
		久美浜病院	10,793	10,843	10,554	△ 50

別表 31 病 院 事 業 収 支 比 率

(単位：％)

区 分	算 出 方 法	年度	令和7年度	令和6年度	令和5年度	対前年比
		病院				
経常収支比率	$\frac{\text{医業収益+医業外収益+訪問看護事業収益+通所リハビリ事業収益}}{\text{医業費用+医業外費用+訪問看護事業費用+通所リハビリ事業費用}} \times 100$	合 計	82.8	90.0	96.2	△ 7.2
		弥栄病院	81.8	86.5	93.4	△ 4.7
		久美浜病院	84.1	94.7	100.1	△ 10.6
医業収益対 医業費用比率	$\frac{\text{医業収益+訪問看護事業収益+通所リハビリ事業収益}}{\text{医業費用+訪問看護事業費用+通所リハビリ事業費用}} \times 100$	合 計	71.8	80.8	84.7	△ 9.0
		弥栄病院	70.9	76.4	80.8	△ 5.5
		久美浜病院	73.1	86.6	89.8	△ 13.5

別表 32

病院事業収益の収支（税込）

（単位：千円）

区 分 \ 年 度		令和7年度			令和6年度		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
収益的収入	医 業 収 益	5,105,592	2,908,082	2,197,510	5,552,135	2,979,765	2,572,370
	医 業 外 収 益	1,060,063	622,050	438,013	908,855	556,938	351,917
	訪問看護事業収益	196,048	110,601	85,447	194,211	111,786	82,425
	通所リハビリテーション事業収益	41,489		41,489	39,133		39,133
	特 別 利 益	53,187	18,717	34,470	53,844	12,075	41,769
	合 計	6,456,379	3,659,450	2,796,929	6,748,178	3,660,564	3,087,614
収益的支出	医 業 費 用	7,375,411	4,235,491	3,139,920	7,116,710	4,017,748	3,098,962
	医 業 外 費 用	123,488	89,480	34,008	103,498	75,475	28,023
	訪問看護事業費用	183,163	120,327	62,836	180,786	121,086	59,700
	通所リハビリテーション事業費用	38,099		38,099	33,213		33,213
	特 別 損 失	20,928	12,228	8,700	3,094	1,200	1,894
	予 備 費	0	0	0	0	0	0
	合 計	7,741,089	4,457,526	3,283,563	7,437,301	4,215,509	3,221,792

別表 33

病院事業資本の収支（税込）

（単位：千円）

区 分		令和7年度			令和6年度		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
資本の収入	企業債	110,400	62,400	48,000	686,300	490,700	195,600
	他会計出資金	0	0	0	0	0	0
	他会計負担金	366,410	228,663	137,747	348,900	201,268	147,632
	補助金	110,419	80,107	30,312	71,372	50,573	20,799
	長期貸付金返還金	3,300	1,650	1,650	3,500	1,750	1,750
	寄附金	0	0	0	0	0	0
	小計	590,529	372,820	217,709	1,110,072	744,291	365,781
	補填財源	消費税及び地方消費税資本の収支調整額	0	0	0	0	0
		繰越工事資金	0	0	0	0	0
		損益勘定等 留保資金等	198,653	143,687	54,966	206,814	140,506
		利益剰余金	0	0	0	0	0
		小計	198,653	143,687	54,966	206,814	66,308
	合計	789,182	516,507	272,675	1,316,886	884,797	432,089
資本の支出	建設改良費	222,974	144,511	78,463	761,091	543,806	217,285
	企業債償還金	554,208	365,996	188,212	542,835	334,511	208,324
	長期貸付金	12,000	6,000	6,000	12,960	6,480	6,480
	合計	789,182	516,507	272,675	1,316,886	884,797	432,089

別表 34

病院事業損益計算書（税抜）

（単位：千円）

年 度 区 分	令和7年度			令和6年度			対前年比			対前年度比 計 (%)
	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	
病院事業収益 (A)	6,429,843	3,641,801	2,788,043	6,720,394	3,642,083	3,078,311	△ 290,551	△ 282	△ 290,268	△ 4.3
医業収益	5,081,135	2,891,463	2,189,672	5,526,899	2,962,473	2,564,426	△ 445,764	△ 71,010	△ 374,754	△ 8.1
入院収益	2,920,456	1,613,483	1,306,973	3,256,073	1,692,005	1,564,068	△ 335,617	△ 78,522	△ 257,095	△ 10.3
外来収益	1,462,566	848,987	613,579	1,501,870	804,390	697,480	△ 39,304	44,597	△ 83,901	△ 2.6
他会計負担金	452,523	250,529	201,994	513,487	278,968	234,519	△ 60,964	△ 28,439	△ 32,525	△ 11.9
その他医業収益	245,590	178,464	67,126	255,469	187,110	68,359	△ 9,879	△ 8,646	△ 1,233	△ 3.9
医業外収益	1,057,985	621,020	436,965	906,535	555,748	350,787	151,450	65,272	86,178	16.7
受取利息配当金	802	382	420	255	138	117	547	244	303	214.5
補助金	155,714	83,343	72,371	48,358	22,861	25,497	107,356	60,482	46,874	222.0
負担金交付金	548,521	304,108	244,413	501,674	291,789	209,885	46,847	12,319	34,528	9.3
患者外給食収益	2,430	2,430	0	3,147	3,147	0	△ 717	△ 717	0	△ 22.8
長期前受金戻入	304,612	210,068	94,544	308,398	215,972	92,426	△ 3,786	△ 5,904	2,118	△ 1.2
その他医業外収益	45,906	20,689	25,217	44,703	21,841	22,862	1,203	△ 1,152	2,355	2.7
訪問看護事業収益	196,048	110,601	85,447	194,212	111,787	82,425	1,836	△ 1,186	3,022	0.9
訪問看護療養費収益	183,118	103,530	79,588	180,905	104,482	76,423	2,213	△ 952	3,165	1.2
利用料収益	12,930	7,071	5,859	13,307	7,305	6,002	△ 377	△ 234	△ 143	△ 2.8
通所リハビリテーション事業収益	41,489		41,489	39,133		39,133	2,356		2,356	6.0
通所リハビリテーション療養費収益	34,635		34,635	32,464		32,464	2,171		2,171	6.7
利用料収益	6,854		6,854	6,669		6,669	185		185	2.8
特別利益	53,187	18,717	34,470	53,615	12,075	41,540	△ 428	6,642	△ 7,070	△ 0.8
過年度損益修正益	0	0	0	2,339	0	2,339	△ 2,339	0	△ 2,339	△ 100.0
長期前受金戻入	49,482	15,712	33,770	47,606	9,324	38,282	1,876	6,388	△ 4,512	3.9
その他特別利益	3,705	3,005	700	3,670	2,751	919	35	254	△ 219	1.0

(単位：千円)

区 分	年 度	令和7年度			令和6年度			対前年比(R7-R6)			対前年度比 計 (%) R6/R5 *100-100
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	
病院事業費用	(B)	7,720,764	4,439,838	3,280,926	7,408,124	4,197,995	3,210,129	312,640	241,843	70,797	4.2
医業費用		7,183,114	4,116,467	3,066,647	6,914,212	3,905,835	3,008,377	268,902	210,632	58,270	3.9
給与費		4,535,689	2,470,486	2,065,203	4,321,833	2,374,964	1,946,869	213,856	95,522	118,334	4.9
材料費		887,209	586,414	300,795	912,073	563,980	348,093	△ 24,864	22,434	△ 47,298	△ 2.7
経 費		1,122,497	603,680	518,817	1,081,144	537,916	543,228	41,353	65,764	△ 24,411	3.8
減価償却費		610,478	440,554	169,924	546,003	391,270	154,733	64,475	49,284	15,191	11.8
資産減耗費		5,465	3,851	1,614	27,252	25,743	1,509	△ 21,787	△ 21,892	105	△ 79.9
研究研修費		21,776	11,482	10,294	25,907	11,962	13,945	△ 4,131	△ 480	△ 3,651	△ 15.9
医業外費用		296,545	191,322	105,223	277,889	170,392	107,497	18,656	20,930	△ 2,274	6.7
支払利息及び企業債取扱諸費		46,889	36,384	10,505	38,078	31,153	6,925	8,811	5,231	3,580	23.1
長期前払消費税償却		55,064	39,051	16,013	45,510	31,733	13,777	9,554	7,318	2,236	21.0
患者外給食材料費		1,215	1,215	0	1,571	1,571	0	△ 356	△ 356	0	△ 22.7
雑損失		193,377	114,672	78,705	192,730	105,935	86,795	647	8,737	△ 8,090	0.3
訪問看護事業費用		182,371	119,821	62,550	179,984	120,568	59,416	2,387	△ 747	3,134	1.3
給与費		175,455	115,391	60,064	173,135	116,086	57,049	2,320	△ 695	3,015	1.3
材料費		0	0	0	45	45	0	△ 45	△ 45	0	△ 100.0
経 費		6,846	4,377	2,469	6,628	4,302	2,326	218	75	143	3.3
研究研修費		70	53	17	176	135	41	△ 106	△ 82	△ 24	△ 60.2
通所リハビリテーション事業費用		37,806		37,806	32,945		32,945	4,861		4,861	14.8
給与費		34,578		34,578	30,015		30,015	4,563		4,563	15.2
材料費		1,366		1,366	1,181		1,181	185		185	15.7
経 費		1,782		1,782	1,686		1,686	96		96	5.7
研究研修費		80		80	63		63	17		17	27.0
特別損失		20,928	12,228	8,700	3,094	1,200	1,894	17,834	11,028	6,806	576.4
過年度損益修正損		3,528	3,528	0	450	0	450	3,078	3,528	△ 450	684.0
その他特別損失		17,400	8,700	8,700	2,644	1,200	1,444	14,756	7,500	7,256	558.1
当年度純損益	(A)-(B)	△ 1,290,920	△ 798,037	△ 492,883	△ 687,730	△ 555,912	△ 131,818	△ 603,190	△ 242,125	△ 361,065	87.7
当年度未処理欠損金		5,902,366	3,637,259	2,265,107	4,611,446	2,839,222	1,772,224	1,290,920	798,037	492,883	28.0
総収益対総費用比率(A)/(B)		83.3	82.0	85.0	90.7	86.8	95.9	△ 7.4	△ 4.8	△ 10.9	

(注) 制度改正に伴い、平成26年度以降の当年度未処理欠損金は、(前年度繰越欠損金+当年度純損益-その他未処分利益剰余金変動額)により計算

別表 35

病 院 事 業 資 産

(単位：千円)

区 分		年 度	令和7年度末 償却未済高			令和6年度末 償却未済高		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院	
固定資産		7,136,343	5,347,444	1,788,899	7,575,216	5,672,598	1,902,618	
有形固定資産	有形固定資産	6,736,513	5,036,934	1,699,579	7,132,503	5,332,715	1,799,788	
	土 地	511,888	101,998	409,890	511,889	101,998	409,891	
	建 物	4,677,752	3,876,197	801,555	4,919,656	4,058,837	860,819	
	構 築 物	171,650	150,324	21,326	187,935	165,500	22,435	
	器械及び備品	1,342,437	878,378	464,059	1,497,977	993,546	504,431	
	車 両	8,501	7,037	1,464	9,621	7,409	2,212	
	リース資産	21,020	21,020	0	2,875	2,875	0	
	その他有形固定資産	0	0	0	0	0	0	
	建設仮勘定	3,265	1,980	1,285	2,550	2,550	0	
	無形固定資産	1,232	523	709	1,231	523	708	
	電話加入権	523	523	0	523	523	0	
	ソフトウェア	0	0	0	0	0	0	
	下水道利用権	709	0	709	708	0	708	
	投 資	398,598	309,987	88,611	441,482	339,360	102,122	
長期貸付金	63,240	31,620	31,620	71,940	35,970	35,970		
長期前払消費税	335,358	278,367	56,991	369,542	303,390	66,152		
流動資産		1,224,804	678,957	545,847	1,363,912	837,905	526,007	
現金預金	現金預金	379,300	205,126	174,174	556,478	430,441	126,037	
	未 収 金	821,437	464,843	356,594	776,321	398,120	378,201	
	貯 蔵 品	23,970	8,891	15,079	31,031	9,266	21,765	
	その他流動資産	97	97	0	82	78	4	
	合 計	8,361,147	6,026,401	2,334,746	8,939,128	6,510,503	2,428,625	

別表 36

病 院 事 業 負 債

(単位：千円)

年 度 区 分		令和7年度末 現在高			令和6年度末 現在高		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
固定負債		6,696,457	5,575,272	1,121,185	6,051,453	5,328,481	722,972
企 業 債		6,680,240	5,559,055	1,121,185	6,051,453	5,328,481	722,972
リース債務		16,217	16,217	0	0	0	0
流動負債		2,326,721	1,365,898	960,823	2,366,353	1,373,026	993,327
一時借入金		1,124,000	590,000	534,000	810,000	400,000	410,000
企 業 債		652,912	457,126	195,786	554,208	365,996	188,212
リース債務		4,990	4,990	0	1,055	1,055	0
未 払 金		255,199	150,446	104,753	722,557	446,379	276,178
引 当 金		271,700	149,609	122,091	259,851	145,819	114,032
その他流動負債		17,920	13,727	4,193	18,682	13,777	4,905
繰延収益		1,308,574	691,054	617,520	1,227,970	625,151	602,819
長期前受金		5,929,028	3,005,098	2,923,930	5,498,412	2,716,173	2,782,239
長期前受金収益化累計額		△ 4,620,454	△ 2,314,044	△ 2,306,410	△ 4,270,442	△ 2,091,022	△ 2,179,420
負 債 合 計 (ア)		10,331,752	7,632,224	2,699,528	9,645,776	7,326,658	2,319,118

別表 37

病院事業資金

(単位：千円)

年 度 区 分		令和 7 年度 決算 額			令和 6 年度 決算 額		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
	固有資本金	28,065	15,532	12,533	28,065	15,532	12,533
	出 資 金	1,023,861	471,147	552,714	1,023,861	471,147	552,714
	組入資本金	397,421	397,421	0	397,421	397,421	0
	資 本 金 合 計 (イ)	1,449,347	884,100	565,247	1,449,347	884,100	565,247

別表 38

病院事業剰余金

(単位：千円)

年 度 区 分		令和 7 年度 決算 額			令和 6 年度 決算 額		
		計	弥栄病院	久美浜病院	計	弥栄病院	久美浜病院
	資本剰余金	2,482,414	1,147,336	1,335,078	2,455,451	1,138,967	1,316,484
	受贈財産評価額	51,061	8,440	42,621	51,061	8,440	42,621
	寄 附 金	8,075	6,075	2,000	8,075	6,075	2,000
	他会計負担金	1,816,541	681,646	1,134,895	1,816,541	681,646	1,134,895
	補 助 金	393,358	383,150	10,208	393,359	383,150	10,209
	その他資本剰余金	213,379	68,025	145,354	186,415	59,656	126,759
	利益剰余金 (a+b+c-d)	△ 5,902,366	△ 3,637,259	△ 2,265,107	△ 4,611,446	△ 2,839,222	△ 1,772,224
	減債積立金 a	0	0	0	0	0	0
	利益積立金 b	0	0	0	0	0	0
	建設改良積立金 c	0	0	0	0	0	0
	当年度未処理欠損金 d	5,902,366	3,637,259	2,265,107	4,611,446	2,839,222	1,772,224
	(うち当年度純損益)	(△ 1,290,920)	(△ 798,037)	(△ 492,883)	(△ 687,730)	(△ 555,912)	(△ 131,818)
	剰 余 金 合 計 (ウ)	△ 3,419,952	△ 2,489,923	△ 930,029	△ 2,155,995	△ 1,700,255	△ 455,740

資 本 合 計 (イ)+(ウ)	△ 1,970,605	△ 1,605,823	△ 364,782	△ 706,648	△ 816,155	109,507
負債資本合計 (ア)+(イ)+(ウ)	8,361,147	6,026,401	2,334,746	8,939,128	6,510,503	2,428,625

別表 39

診療費未収金

令和8年3月31日現在

(単位：千円)

弥栄病院								
年度	計		現年度分		滞納繰越分		不納欠損	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
令和3年度	2,023	36,251	802	11,674	1,241	24,912	20	335
令和4年度	1,836	36,245	607	9,910	1,229	26,335	0	0
令和5年度	1,555	35,536	383	9,623	1,172	25,913	0	0
令和6年度	1,499	32,564	317	7,682	1,216	27,368	34	2,486
令和7年度	1,428	31,377	257	5,423	1,171	25,954	0	0

久美浜病院								
年度	計		現年度分		滞納繰越分		不納欠損	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
令和3年度	1,996	19,873	971	5,037	1,025	14,836	0	0
令和4年度	2,239	21,806	1,258	7,653	981	14,153	0	0
令和5年度	2,206	20,633	1,199	6,344	1,007	14,289	0	0
令和6年度	1,815	18,893	951	5,464	899	13,897	35	468
令和7年度	1,635	19,239	774	6,125	861	13,114	0	0

